

「逗子市子ども・子育て支援事業計画の改定」に伴う アンケート調査(未就学児調査)

～調査の趣旨とご協力のお願い～

市民のみなさまには、日頃より逗子市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成27年3月に『逗子市子ども・子育て支援事業計画』(第1期：平成27年度～平成31年度、第2期6：令和2年度～令和6年度)を策定し、誰もが住みなれた地域で安心して子どもを産み育てることのできる総合的な支援体制の充実と、地域と力を合わせてともに子どもを育むまちづくりを目指してきたところです。

この度、令和7年度からの第3期『逗子市子ども・子育て支援事業計画』を改定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、本調査を行います。

今回の調査では、市内にお住まいの小学校就学前の児童(令和●年4月2日から令和●年●月1日の間に生まれた児童)がおられる全ての世帯を対象に各ご家庭に1通ずつ配布しています。

また、回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年●月

逗子市長

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、あて名に記載されているお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 設問には、令和5年●月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答で、「その他」に○をつけられた場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 20頁以降に参考資料として「用語の解説」があります。回答の参考にしてください。
- 記入されましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

令和5年●月●日(●)までにご投函ください。

- このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

逗子市 教育部子育て支援課子育て支援係
電話：046-873-1111(内線536)
FAX：046-873-4520

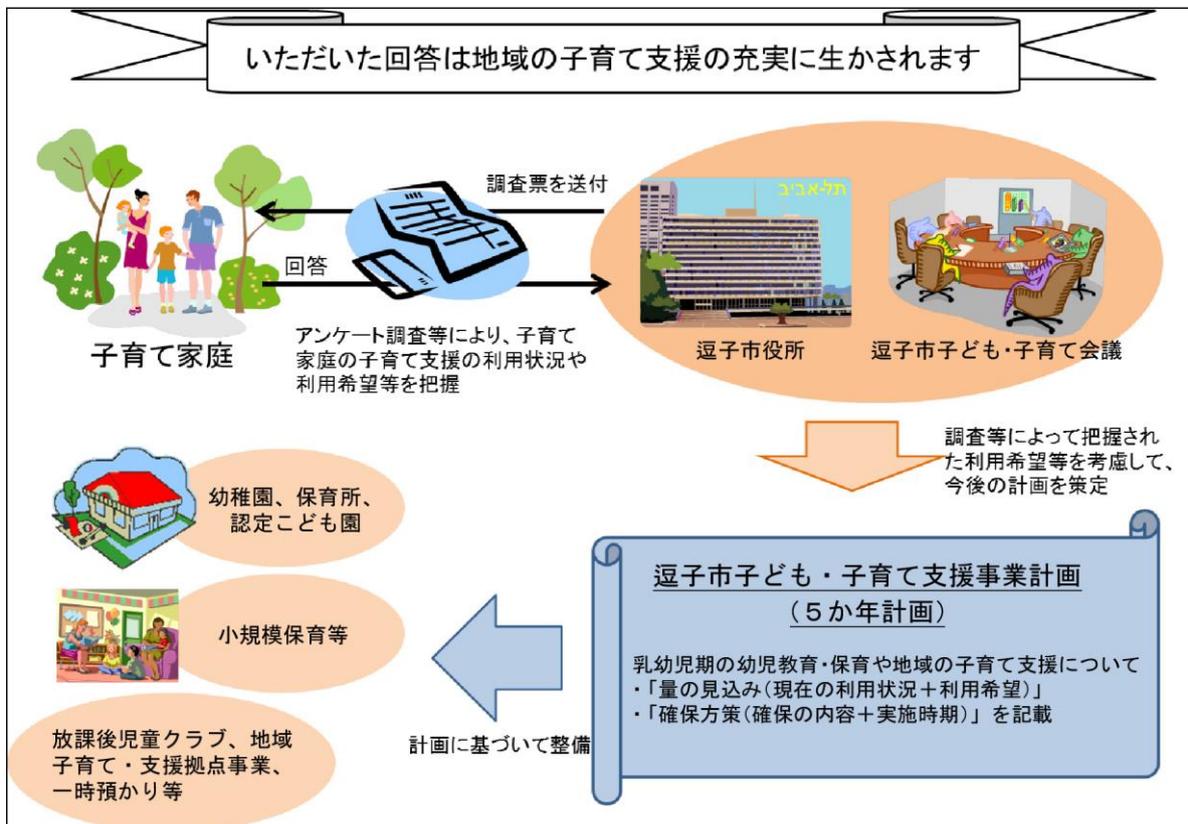
回答するに当たってお読みください

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、国の指針に基づき全国の市町村で実施されます。

- 子ども・子育て支援制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳幼児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



お住まいの地域について

問1 お住まいの地区(○は1つ)

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1 逗子 | 2 桜山 | 3 沼間 | 4 池子 |
| 5 山の根 | 6 久木 | 7 小坪 | 8 新宿 |

問1-1 4歳以上のお子さんのみお答えください。お住まいの小学校区はどちらですか。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 逗子小学校区 | 2 沼間小学校区 | 3 池子小学校区 | 4 久木小学校区 | 5 小坪小学校区 |
|----------|----------|----------|----------|----------|

封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月(数字で記入)

平成・令和 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは宛名のお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入) 2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成・令和 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方は宛名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者はいない |
|----------|-----------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのは宛名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 | 4 主に祖父母 | 5 その他 () |
|---------|--------|--------|---------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方は宛名のお子さんからみてどなた(施設)ですか。(○はいくつでも)

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|-------|-------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 | 4 祖父母 | 5 幼稚園 |
| 6 保育所 | 7 認定こども園 | 8 その他 () | | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|------|------|-------|-------|----------|-----------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 幼稚園 | 4 保育所 | 5 認定こども園 | 6 その他 () |
|------|------|-------|-------|----------|-----------|

問8-1 宛名のお子さんが普段保護者と遊ぶのはどのような場所ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1 自宅・祖父母等親戚の家 | 2 友だちの家 |
| 3 公園・海岸 | 4 子育て支援センター |
| 5 図書館 | 6 市民交流センター |
| 7 逗子アリーナ | 8 小坪コミュニティセンター・沼間コミュニティセンター |
| 9 体験学習施設スマイル | 10 親子遊びの場(小坪・沼間) |
| 11 ほっとスペース | |
| 12 その他 () | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問9-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ 問9-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|--------|
| 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他() | |

問9-2 問9で「3」または「4」に〇をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |) |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他() | |

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 いる/ある ⇒ 問10-1へ | 2 いない/ない ⇒ 問11へ |
|------------------|-----------------|

問10-1 問10で「1 いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1 祖父母等の親族 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 子育て支援センター等(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO |
| 5 保健所・保健センター | 6 保育士 |
| 7 幼稚園教諭 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 かかりつけの医師 | 10 市の子育て関連担当窓口(保健師・相談員等) |
| 11 その他(【例】インターネット) |) |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

- | | | |
|--|---|------------|
| 1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | } | ⇒ (1) - 1へ |
| 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
6 これまで就労したことがない | } | ⇒ (2)へ |

※ フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等＝「フルタイム」以外の就労

(1) - 1 (1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1 週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1 日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
--	---

(1) - 2 (1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時10分～18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分	帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分
--	--

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

- | | | |
|--|---|------------|
| 1 フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない
2 フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である
3 パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない
4 パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | } | ⇒ (2) - 1へ |
| 5 以前は就労していたが、現在は就労していない
6 これまで就労したことがない | } | ⇒ 問14へ |

※ フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等＝「フルタイム」以外の就労

(2) - 1 (2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1 週当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 日	1 日当たり <input style="width: 30px;" type="text"/> 時間
--	---

(2) - 2 (2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時10分～18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分	帰宅時刻 <input style="width: 30px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px;" type="text"/> 分
--	--

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3 または 4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方
 にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1)) 母親	1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
(2)) 父親	1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5」(以前は就労していたが、現在は就労していない) または「6」
 (これまで就労したことがない) に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みくださ
 い。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ○は1つ)(口内に数字を記入)

(1) 母親

(1) 母親	1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 0 10px;"> →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> <td></td> </tr> </table>	{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}		→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}					
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間						
(2) 父親	1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 0 10px;"> →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> <td></td> </tr> </table>	{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}		→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}					
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間						

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(○は1つ)

1 利用している ⇒ 問15-1へ

2 利用していない ⇒ 問15-5へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1」(利用している)に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。(○はいくつでも)

- 1 幼稚園(通常の就園時間の利用)
- 2 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
- 4 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
- 6 家庭的保育事業(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員5人以下のもの)
- 7 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- 9 その他の認可外の保育施設
- 10 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11 ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
- 12 企業主導型保育事業(認可保育所ではないが、国庫補助で運営される施設)
- 13 その他()

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かをお答えください。(数字を記入) 時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。問 15-1 で複数を選択された方はそれらの合計を記載してください。

(1) 現在

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(○は1つ)

1 逗子市内

2 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育てをしている方が現在就労している
- 3 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
- 4 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
- 5 子育てをしている方が病気や障害がある
- 6 子育てをしている方が学生である
- 7 子育てをしている方が妊娠している／産後である
- 8 その他 ()

問 15-5 問 15 で「2」(利用していない)に〇をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8 子どもがまだ小さいため (____ 歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 9 その他 ()

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。(〇はいくつでも) なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(料金設定は 20 頁参照)

- 1 幼稚園 (通常就園時間の利用)
- 2 幼稚園の預かり保育 (通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
- 4 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの)
- 6 家庭的保育事業 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員 5 人以下のもの)
- 7 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- 9 その他の認可外の保育施設
- 10 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
- 12 企業主導型保育事業 (認可保育所ではないが、国庫補助で運営される施設)
- 13 その他 ()

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。(①～⑱の事業ごとに A、B、C それぞれ○は1つ) なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親両親教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②離乳食教室・2歳児すくすく教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子育て相談総合窓口（市子育て支援課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育研究相談センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤児童相談所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥こども発達支援センター（療育相談）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦民生委員・児童委員	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域安心生活サポート事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨社会福祉協議会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩プレイリヤカー	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子育て ROOM 陽だまり	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫保育所や幼稚園の園庭等開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ずしファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭ずし子育てわくわくメール	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮体験学習施設スマイル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰ほっとスペース	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱親子遊びの場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 19-1 上記の保育所・幼稚園・親子の居場所などの子育て支援に関する情報を、どこから入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| 1 市の窓口・電話（市子育て支援課・児童青少年課など）
2 市の広報誌「広報ずし」
3 市が発行するチラシ等
4 市のホームページ
5 子育て支援センターや施設
6 地域の団体等が発行する子育て情報誌、パンフレット、チラシ等
7 民間企業等が発行する子育て雑誌、パンフレット、チラシ等
8 知人・友人
9 インターネット（市のホームページ以外）
10 その他（ |) |
|---|---|

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字を記入）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
--	-----	---------------------------

(2) 日曜・祝日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
--	-----	---------------------------

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で「3」(月に 1～2回は利用したい) に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 月に数回仕事が入るため	2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3 親族の介護や手伝いが必要なため	4 息抜きのため
5 その他 ()	

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字を記入）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用する必要はない 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
---	-----	---------------------------

問 21-1 問 21 で「3」(週に数日利用したい) に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 週に数回仕事が入るため	2 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4 息抜きのため
5 その他 ()	

問 22-5 問 22-1で「3～9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(○は1つ) また、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。(数字を記入)

1 できれば仕事を休んで看たい → <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 23 へ
2 休んで看ることは非常に難しい	⇒ 問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5で「2」(休んで看ることは非常に難しい)に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 子どもの看護を理由に休みがとれない	2 自営業なので休めない
3 休暇日数が足りないので休めない	4 その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも) また、その場合の1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。(数字を記入)

1 一時預かり----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日 (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	} ⇒ 問 24 へ
2 幼稚園の預かり保育----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	
3 ファミリー・サポート・センター----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日 (地域住民が子どもを預かる事業)	
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日 (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	
5 ベビーシッター----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6 その他 () ----- <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7 利用していない	

問 23-1 問 23で「7」(利用していない)に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 特に利用する必要がない
2 利用したい事業が地域にない
3 地域の事業の質に不安がある
4 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5 利用料がかかる・高い
6 利用料がわからない
7 自分が事業の対象者になるのかわからない
8 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9 その他 ()

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労の目的で、利用する希望がありますか。
(○は1つ)

1 利用したい ⇒ 問 24-1 へ	2 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ
---------------------------	-----------------------------

問 24-1 問 24 で「1」(利用したい)と回答された方にうかがいます。利用の目的は何ですか。(○はいくつでも) また、必要な日数も記入してください。(数字を記入) なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的-----	□□	日
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等-----	□□	日
3 不定期の就労-----	□□	日
4 その他()-----	□□	日
合計		□□ 日

問 24-2 問 24 で「1」(利用したい)と回答された方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

1 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
2 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)
3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4 その他()

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(○はいくつでも)(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、日数もご記入ください。(数字を記入)。

1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった-----	□□	日	⇒ 問 25-1 へ ⇒ 問 26 へ
2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した----- (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	□□	日	
3 2以外の保育事業----- (認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した)	□□	日	
4 仕方なく子どもを同行させた-----	□□	日	
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた-----	□□	日	
6 その他()を利用した-----	□□	日	
7 みてもらうことはなかった			

問 25-1 問 25 で「1」((同居者を含む)親族・知人にみてもらった)と回答された方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも） また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール※1-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
→下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 時まで			
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 その他（公民館、公園など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
8 現時点ではわからない			

※1 小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも） また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

※ だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール※1-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
→下校時から <input style="width: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px;" type="text"/> 時まで			
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 その他（公民館、公園など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
8 現時点ではわからない			

※1 小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 28 問 26 または問 27 で「6」(放課後児童クラブ(学童保育))に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれに○は1つ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。(数字を記入)

(1) 土曜日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

(2) 日曜・祝日

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ) 事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。(数字を記入)

1 低学年(1～3年生)の間は利用したい 2 高学年(4～6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一桁に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ↳ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ↳ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>

- | | |
|---|---|
| 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
3 (産休後に)仕事に早く復帰したかった
5 昇給・昇格などが遅れそうだった
7 保育所(園)などに預けることができた
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10 子育てや家事に専念するため退職した
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13 育児休業を取得できることを知らなかった
14 産前産後の休暇(産前 習慣、産後 8週間)を取得できることを知らず、退職した
15 その他() | 2 仕事が忙しかった
4 仕事に戻るのが難しそうだった
6 収入減となり、経済的に苦しくなる
8 配偶者が育児休業制度を利用した |
|---|---|

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

- | |
|---------------------------|
| 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2 育児休業給付のみ知っていた |
| 3 保険料免除のみ知っていた |
| 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問 30-2 問 30で「2」（取得した（取得中である））に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 31へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

(1) 母親	(2) 父親
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に離職した	3 育児休業中に離職した

問 30-3 問 30-2で「1」（育児休業取得後、職場に復帰した）に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つ）

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親	1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 それ以外だった
(2) 父親	1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）

(1) 母親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
(2) 父親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）。

(1) 母親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
(2) 父親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親	1 希望する保育所に入るため 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった 5 その他 ()	2 配偶者や家族の希望があったため 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
②父親	1 希望する保育所に入るため 3 経済的な理由で早く復帰する必要があった 5 その他 ()	2 配偶者や家族の希望があったため 4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親	1 希望する保育所に入れなかったため 3 配偶者や家族の希望があったため 5 子どもをみてくれる人がいなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6 その他 ()
②父親	1 希望する保育所に入れなかったため 3 配偶者や家族の希望があったため 5 子どもをみてくれる人がいなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6 その他 ()

問 30-7 問 30-2 で「1」(育児休業取得後、職場に復帰した)に〇をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

(1) 母親	1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2 利用した 3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
(2) 父親	1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) 2 利用した 3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

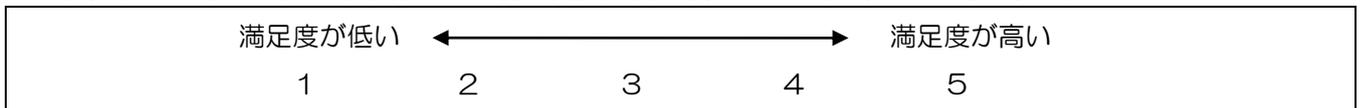
問 30-8 問 30-7で「3」(利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった))に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

(1) 母親	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2 仕事が忙しかった 3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7 子育てや家事に専念するため退職した 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10 その他()
(2) 父親	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2 仕事が忙しかった 3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7 子育てや家事に専念するため退職した 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10 その他()

問 30-9 問 30-2で「2」(現在も育児休業中である)と○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○は1つ)

(1) 母親	1 1歳になるまで育児休業を取得したい 2 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	1 1歳になるまで育児休業を取得したい 2 1歳になる前に復帰したい

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



問 32 教育、保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

妊娠・出産について

問 33 宛名のお子さんの妊娠中に妊婦健康診査を受診しましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 定期的を受診した | 2 だいたい受診した |
| 3 あまり受診しなかった | 4 一度も受診しなかった |

問 34 問 33 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 仕事が忙しかった | 2 家事や育児で忙しかった |
| 3 施設が遠かった | 4 待ち時間が長かった |
| 5 料金が高かった | 6 順調だと自信があった |
| 7 きょうだい児を連れていくのが大変だった | 8 その他 () |

問 35 妊娠中から現在までで、子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがありましたか。(それぞれに○は1つ)

	よくあった	時々あった	ほとんどなかった	なかった
妊娠中	1	2	3	4
出産後、半年くらいの間	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

問 36 妊娠中や出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 母親の健康面の相談 | 2 赤ちゃんの育児相談 |
| 3 助産師・保健師等の家庭訪問 | 4 家事や赤ちゃんの沐浴などのヘルパー |
| 5 子育て中の人同士の交流 | 6 子育て経験者から気軽に話を聞ける場や機会の提供 |
| 7 父親向けの育児講座 | 8 行政による子育て情報の提供 |
| 9 育児方法を習得する機会 | 10 助産所での短期入所等による産後のケア |
| 11 経済面での補助 | 12 きょうだい児の一時預かり |
| 13 その他 () | |

子育てについて

問 37 子育てに関してインターネット(パソコンやスマートフォン等)をどのくらい利用しますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 毎日利用する | 2 とくとき利用する・週に数回程度 |
| 3 ごくたまに利用する・1カ月に数回程度 | 4 滅多に利用しない・数か月に1回程度 |
| 5 利用しない | 6 その他 () |

問 38 子育てをしていて、つらかったことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 自分の自由になる時間が持てないこと | |
| 2 経済的に負担が大きいこと | |
| 3 社会的に取り残されているような孤立感を感じる | |
| 4 配偶者の子育てへの協力が得られないこと | |
| 5 子どもの成長に対する不安があること | |
| 6 子どもが就労のさまたげになっていると感じていること | |
| 7 子どもを通しての友人との付き合いがうまくいかない・苦痛であること | |
| 8 子どもを持つよろこびを実感できないこと | |
| 9 その他 () | |
| 10 特になし | |

問 39 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 2 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 3 親の不安や悩みの相談 | 4 子育て中の親同士の仲間づくり |
| 5 子育てに関する総合的な情報提供 | 6 父親の育児参加に関する意識啓発 |
| 7 子どもの病気や障がいについての相談 | 8 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提案 |
| 9 子育てについての講座 | 10 その他 () |
| 11 わからない | 12 特にない |

問 40 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 交通機関や建物、道路について構造や放置自転車が多いことなど、ベビーカーでの移動に不自由なこと |
| 2 子どもが安全に通れる道路がないこと |
| 3 安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと |
| 4 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと |
| 5 公共施設や公共機関に子ども連れに対するの理解があまり無いこと |
| 6 いざというときに子どもを預かってくれる人がいないこと |
| 7 周囲の人が子ども連れを温かい目で見てくれないこと |
| 8 親自身が友達を作れる場や機会がないこと |
| 9 子育ての経験者や先輩ママと知り合えないこと |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |

お住まいと世帯の年収について

問 41 現在のお住まい(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 2 持ち家(分譲マンション等の集合住宅) |
| 3 民間の借家(一戸建て) | 4 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅) |
| 5 公団・公社・公営の賃貸住宅・アパート | 6 社宅・公務員住宅などの給与住宅 |
| 7 その他 () | |

問 42 世帯の年収(〇は1つ)

- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|---------------|
| 1 200万円未満 | 2 200~300万円未満 | 3 300~400万円未満 | 4 400~500万円未満 |
| 5 500~700万円未満 | 6 700~1,000万円未満 | 7 1,000万円以上 | |

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、

令和●年●月●日(●)までにご投函ください。

用語	内容	問合せ先
幼稚園	満3歳になった次の4月～小学校入学前までの幼児を対象に、学校として幼児教育を行っている。(一部の園で、満3歳になった時点で随時受入)市内には5園あり、すべて私立幼稚園。(かぐのみ幼稚園、逗子幼稚園、第二逗子幼稚園、聖和学院幼稚園、聖マリア幼稚園) ◆利用料：おおむね24,000円～29,000円/月。入園料・月謝等は園によって異なる。	保育課
幼稚園の預かり保育	幼稚園の正規の教育時間(1日4時間が標準)の前後や夏休み期間中などに、在園児を預かり保育。市内では4園が実施。	保育課
認定こども園	保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設。 ◆利用料：おおむね認可保育所と同様。	保育課
認可保育所 (公立・私立)	保護者や同居の親族が仕事・病気などで、昼間にお子さん(生後8週～小学校入学前まで)を保育できない場合に、保護者に代わって保育する児童福祉施設。市内に公立2園(湘南保育園、小坪保育園)、私立5園。(双葉保育園、沼間愛児園、桜山保育園、湘南アイルド逗子保育園、逗子なないろ保育園)◆利用料：世帯の所得(同居者等を含む)とお子さんの年齢によって決められている。18時以降は別途延長保育料がかかる。	保育課
小規模保育施設	0歳児～2歳児までのお子さんを対象とした、定員6人～19人の認可保育施設。市内に3施設。(ごかんのいえ、逗子しらかば乳児保育園、逗子幼稚園付属乳児部)◆利用料：認可保育所と同様。	保育課
家庭的保育事業	0歳児～2歳児までのお子さんを対象とし、家庭的保育者が自宅等にて5人以下の少人数の保育を行う。市の認可事業。市内に1か所。(あにえるち保育室) ◆利用料：認可保育所と同様。	保育課
事業所内保育施設	企業や病院などが従業員の為に設置した保育施設。原則として従業員のみが利用。 ◆利用料：各施設が設定。	保育課
企業主導型保育事業	企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する国庫補助による認可外保育施設です。従業員以外の児童を預かる「地域枠」もあります。市内に2園。(YBS逗子、ココカラデザイン保育園山本メディカルひでまり園) ◆利用料：各施設が設定。	保育課
認可外保育施設	国・自治体の設置認可を受けてない保育施設の総称。市内に1園。(ごかんのもり)。 ◆利用料：各施設が設定。	保育課
一時預かり	保護者の病気や冠婚葬祭、育児疲れのリフレッシュなど、日頃保育所を利用していなくても、一時的に利用できる制度。市内では私立保育園4園で実施。◆利用料：各園が設定	保育課
ファミリー・サポート・センター	所在地は逗子市桜山1-5-42、子育て支援センターに併設。会員制で、子どもの保育所等への送迎や一時預かりなどの互助援助活動。病児・病後児預かりも行う。支援会員・依頼会員・両方会員がある。小学6年生まで利用可◆利用料は、平日(7時～20時)1時間700円(病児900円)◆土日祝・時間外1時間900円(病児1,100円)ひとり親、病児の補助制度もある。◆その他実費は保護者負担。	子育て支援課
ベビーシッター	子どもを家庭や指定された場所において保育や世話をする人のこと。利用者と事業者との個人契約で、深夜や休日も含めて、個人のニーズに対応して事業者がベビーシッターを派遣するもの。◆利用料：団体・法人等により異なる。	-

地域の子育て支援事業等内容・利用料など

用語	内容	問合せ先
子育て支援センター (地域子育て支援拠点)	逗子市桜山1-5-42に所在。子育てに悩みや不安を抱える保護者に対して、身近で気軽に利用できる支援拠点。自由に過ごせる子育てひろばの他、保健師相談や赤ちゃん相談を行っている。トイトレ・コグやパパ向け講座などのミニ講演会も。子育てアドバイザーが常駐し、小さいお子さんを遊ばせながら育児相談ができる。小坪・沼間親子遊びの場で巡回相談も実施。 ◆利用料 無料	子育て支援課
親子遊びの場	小坪(逗子市小坪5-21-15)と沼間(逗子市沼間1-2-20)の2箇所。乳幼児とその親が気軽に地域の他の親らと交流することができる自由で開放的な場所。貸しスペースとして地域の子育てサークルの活動の場としても利用可能。子育てアドバイザーの巡回相談も週1回。 ◆利用料 無料	子育て支援課
ほっとスペース	乳幼児とその親が自由に利用でき、くつろげる交流の場であり遊びの場。市内に5か所。(逗子・小坪・久木・沼間・池子)。親子体操や手遊び、お誕生日会など。◆利用料 無料	子育て支援課

用語	内容	問合せ先
プレイリヤカー	プレイリヤカーは乳幼児と保護者が地域の公園などで気軽に外遊びをして楽しくすごしてもらうことを目的とし、池子ほっとスペースの一環として行っている。◆利用料：無料	子育て支援課
体験学習施設スマイル	池子1-11-2に所在。児童館機能を持ち児童青少年の健全育成を目的とした施設。多目的室やスポーツルーム、カフェ等を設置。スマイル講座やスマイルまつりなど各種イベントも開催。	子育て支援課
逗子市子ども相談室 (家庭児童相談室)	子ども本人や親等からの心配事や悩み事などの相談の受け付け。逗子市役所内に、設置。月曜日～金曜日8:30～17:15 電話046-871-8801(直通) ◆利用料 無料(電話代はご本人負担)	子育て支援課
民生委員・児童委員	民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されている委員。社会奉仕の精神をもって、相談・援助を行い地域住民を支援している。守秘義務があり、困りごとがあれば気軽に相談できる。福祉の制度など、さまざまな支援サービスをご紹介します。	社会福祉課
妊婦健康診査	母子保健法に基づき、妊婦及び胎児の健康を確保し健康管理の充実を図るため、実施される健診。補助対象者1人につき14枚の妊婦健康診査費用補助券を母子手帳交付と同時に交付。補助券の利用により、妊婦健康診査費用を市で負担。 ◇市の負担額：妊婦1人あたり最大6万1千円の補助	子育て支援課
こんにちは赤ちゃん訪問事業	お母さんと赤ちゃんが心身ともに健康に生活できるよう、生後4カ月までの赤ちゃんがいる全ての家庭へ助産師・保健師が訪問を行う。	子育て支援課
母親両親教室	妊娠や出産、育児の不安をなくし、健康で元気な赤ちゃんを生み育てることを目的として、母親両親教室を行う。妊婦体操やお風呂の入れ方など基礎知識を学ぶ。土曜開催コースも実施。	子育て支援課
離乳食教室	離乳食開始時期の乳児を対象に、おんぶ体験、離乳食に関するお話、試食、質疑応答を行う。(予約制)。対象月以外でも受講可能。◆利用料：無料	子育て支援課
2歳児すくすく教室	内容：お話(生活・歯・食事について)、育児相談、歯科相談、栄養相談、計測などです。 ◆利用料：無料	子育て支援課
陽だまりサークル	子育て中のお父さんお母さんのリフレッシュ事業として、また親同士の仲間(つながり)づくりの場として、年4回開催。開催中はお子様を保育サポーターに預け、お父さんから離れて親同士が楽しみながら気分転換を図る場となっている。	社会福祉協議会
地域安心生活サポート事業	“地域において孤立しがちなひとり暮らし高齢者や障がい者世帯等を地域で見守り支援していくことにより、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制”を地域が主体となって検討し、取り組む事業。自治会や地域のボランティア(見守りサポーター)が中心となって取り組んでいる。	社会福祉協議会
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が仕事などで放課後家庭にいないお子さんの遊びや生活の場を提供する施設。市内の小学校区毎に1箇所ずつ設置し5箇所あります。 ◆利用料：0円～12,000円/月。延長保育料は別途1000円/月かかります。	保育課
ふれあいスクール	市立小学校の空き教室を活用し、放課後の子どもの遊びの場を開設している事業。子どもたちの豊かな人間性の育成を目的としています。◆利用料無料	子育て支援課
こども発達支援センター療育相談 (ひなた)	18歳までの障がいや発達に心配のあるお子さんが将来にわたって、その持てる力を十分に発揮して暮らせるよう、相談や個別支援・勉強会などを通して切れ目なくサポートする。所在地：逗子市桜山5-20-29(療育教育総合センター1階) 開館日等：月曜日～金曜日(開館時間)8:30～17:15(電話相談・来館相談)9:30～16:30 ※来館予約の受付は17:00まで ◆利用料：無料	療育教育総合センター
こども発達支援センターくろーばー	「自立的で豊かな生活の広がり」を目的として、お子さん一人ひとりの様々な特性に配慮した個別支援計画をもとに、児童発達支援事業や放課後等デイサービスのグループ療育などとおして、専門的で一貫した支援をご家族や療育相談と協働しながら行う。※児童福祉法に基づく法定サービスになりますので、利用するにあたり所定の手続きが必要となります。 所在地：逗子市桜山5-20-29(療育教育総合センター2階) ◆利用料：800円程度/日 ※世帯の収入状況等により負担上限月額が設けられている。	療育教育総合センター

用語	内容	問合せ先
教育研究相談センター	所在地は、逗子市桜山5-20-29（療育教育総合センター3階）。教育に有用な調査・研究、教員の指導力向上のための研修会などの取り組み及び教育相談などを行い、本市の教育の振興を図る。不登校児童生徒の学習の場として適応指導教室「なぎさ」を開室。また、支援教育推進巡回指導員、巡回スクールカウンセラーを市内小中学校に派遣し、支援教育に関する学校のサポートを行っている。また、市内児童・生徒及びその保護者・教員を対象とし、教育に関する悩み・不安・ストレス等さまざまな要因からくる相談を受けることにより、相談者の心的負担の軽減を図り問題解決の支援を行います。	療育教育総合センター
ずし子育てわくわくメール（メルマガ）	子育てに関するイベントや講座、子どもの健診などお知らせをメールで配信。 0～2歳、3～5歳、6～11歳、12歳～15歳児、16歳～18歳、の5区分があります。 ◆利用料 無料（通信費などは登録者負担）	子育て支援課
社会福祉協議会	逗子市桜山5-32-1に所在。公共性・公益性のある社会福祉団体として、地域福祉の向上や地域福祉事業の推進役として活動を続け、在宅福祉サービス各種相談、ボランティアのコーディネート、子育て支援事業などにも取り組んでいる。	社会福祉協議会
児童養護施設	児童福祉法に基づく児童福祉施設の一つ。保護者がいない、虐待されているなど家庭養育が困難な子どもを入所させて養育する施設。近隣に、鎌倉児童ホーム（鎌倉市）、春光学園（横須賀市）、幸保愛児園（葉山町）、誠心学園（横浜市磯子区）などがある。	子育て支援課
児童相談所	児童福祉法に基づき、原則18歳未満の子どもに関する様々な相談に応じる機関。子育ての悩み・虐待に関する相談・言葉や発達の遅れに関する相談・生活やしつけの相談・非行の相談・不登校の相談・里親に関する相談等本人、家族、学校の先生、地域の方々等からの相談に専門スタッフが応じる行政機関。逗子市は、鎌倉三浦地域児童相談所の管轄。 ◆利用料 無料	子育て支援課
保健所	県鎌倉保健福祉事務所（平成9年に県保健所と県福祉事務所が合併した機関）が逗子市を所管しています。医師、保健師、栄養士、衛生監視員等の専門職種が勤務し、住民の方々の生活に密着した保健・医療・衛生・福祉水準の向上に努めている。	子育て支援課
保健センター	逗子市池子字棧敷戸1892-6に所在し、子どもの健診や、大人の健診（検診）、栄養講座など各種講座などの会場となっている。	国保健康課
育児休業制度	育児を目的として休業できる制度。育児休業中は、雇用保険から休業前の賃金の40%程度相当が育児休業給付として支給される。	—
短時間勤務制度	3歳未満の子を養育する従業員が対象。申し出により、短時間勤務（1日6時間勤務）ができる制度。平成24年7月1日法改正により従業員数100人以下の事業所も適用となっている。	—

逗子市では行っていない事業

用語	内容	問合せ先
居宅訪問型保育	ベビーシッターのように、保育者が保育を必要とする子どもの自宅で保育を行う。 ◆利用料：保護者の所得により異なります。	—
病児・病後児保育施設	逗子市内には、現在のところ、病児・病後児保育施設はありません。近隣では、鎌倉市、横須賀市などで実施しています。発熱時など病気のと看に、病院や保育施設に付設された専用スペースで看護師などが一時的に保育する事業。	—
夜間養護等事業：トワイライトステイ	逗子市では実施していない。	—
短期入所生活援助事業（ショートステイ）	逗子市では子どもを預かるショートステイ事業は行っていません。（障がい程度区分1以上の障がい者向けのみ実施）。保護者の入院や育児疲れ等により一時的に養育困難となったお子さんを乳児院・児童養護施設で短期間お預かりする事業で、近隣では横須賀市が行っている。	—

「逗子市子ども・子育て支援事業計画の改定」に伴う アンケート調査(小学生調査)

～調査の趣旨とご協力のお願～

市民のみなさまには、日頃より逗子市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成27年3月に『逗子市子ども・子育て支援事業計画』(第1期：平成27年度～平成31年度、第2期：令和2年度～令和6年度)を策定し、誰もが住みなれた地域で安心して子どもを産み育てることのできる総合的な支援体制の充実と、地域と力を合わせてともに子どもを育むまちづくりを目指してきたところです。

この度、令和7年度からの第3期『逗子市子ども・子育て支援事業計画』を改定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、本調査を行います。

今回の調査では、逗子市立の小学校1学年～4学年までの児童を対象に配布しています。

また、回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和5年●月

逗子市長

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、お子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 設問には、令和5年●月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答で、「その他」に○をつけられた場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 記入されましたら、お手数ですが、

令和5年●月●日(木)までに担任の先生に提出してください。

- このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

逗子市 教育部子育て支援課子育て支援係
電話：046-873-1111 (内線 536)
FAX：046-873-4520

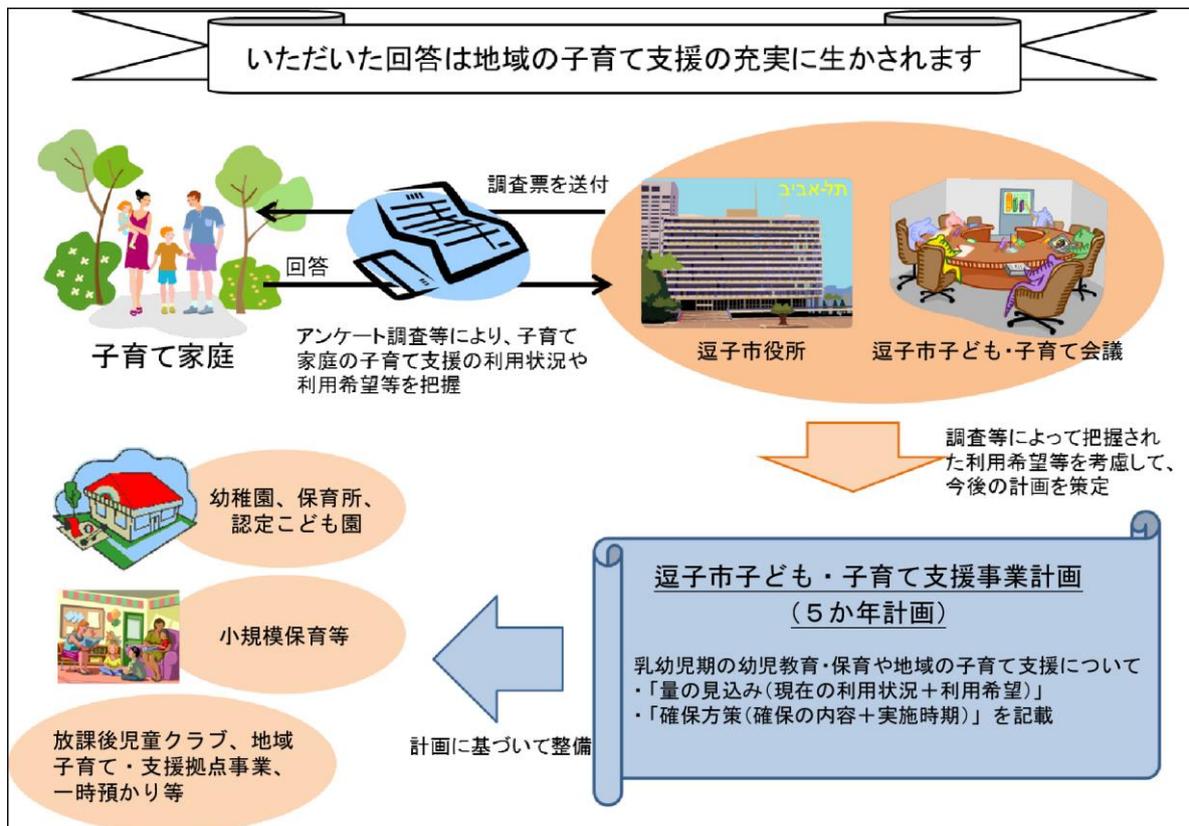
回答するに当たってお読みください

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、国の指針に基づき全国の市町村で実施されます。

- 子ども・子育て支援制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



用語の解説

◆放課後児童クラブ（学童保育）

保護者が仕事などで放課後家庭にいないお子さんの遊びや生活の場を提供しています。市内の公立小学校区毎に1箇所ずつ整備し、5箇所あります。

◇対象児童：保護者が仕事などで放課後家庭にいない子ども

◇利用時間：平日は、下校時～19:00 土曜は8:00～19:00

◇利用料金：0円～12,000円/月 延長保育料は、別途1,000円/月 かかります。

◆ふれあいスクール

市内の各市立小学校の空き教室を活用し、放課後等の子どもの遊び場として開設しています。子どもたち豊かな人間性の育成を目的としています。

◇対象児童：市内に居住している全ての小学生

◇利用時間：月曜日～金曜日、下校時～17:00 夏休み等は9:00～17:00

土曜日・日曜日・祝日は休館

◇利用料金：無料

◆ファミリー・サポート・センター

所在地は逗子市桜山1-5-42で、子育て支援センターに併設されています。会員制で、子どもの保育所等への送迎や一時預かりなどを互助援助活動として行います。病児・病後児預かりも行っています。支援会員・依頼会員・両方会員があります。

◇利用料は、依頼会員が直接支援会員へ支払います。

◇小学生まで利用可能です。

◇平日（7時～20時）1時間あたり700円（病児・病後児900円）

土日祝・時間外1時間あたり900円（病児・病後児1,100円）

ひとり親家庭、病児の補助制度もあります。

その他の実費は保護者の負担となります。

病児・病後児預かりはお預かりする条件があります。

◆病児・病後児

◇病児は、風邪やインフルエンザなど病中の児童。

◇病後児は、病気の回復期にあつて、集団保育等が困難な期間にある児童。

◇病児・病後児施設は、現在のところ逗子市内にはありません。

（ファミリー・サポート・センター登録者の支援会員宅での預かりのみ。）

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区(○は1つ)

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1 逗子 | 2 桜山 | 3 沼間 | 4 池子 |
| 5 山の根 | 6 久木 | 7 小坪 | 8 新宿 |

問2 お子さんが通っている小学校(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 逗子小学校 | 2 沼間小学校 | 3 池子小学校 |
| 4 久木小学校 | 5 小坪小学校 | |

お子さんご家族の状況について

問3 お子さんの学年(数字で記入)

年生

問4 お子さんのきょうだいはお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入)2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。(平成/令和は該当する方に○)

1 きょうだいは 人 末子の生年月 **平成** 年 月生まれ
いない (本人を含めて) **令和**

問5 この調査票にご回答いただく方はお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他() |
|------|------|----------|

問6 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者はいない |
|----------|-----------|

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|----------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 | 4 主に祖父母 | 5 その他() |
|---------|--------|--------|---------|----------|

問 8 お子さんは、小学校入学前は主にどのような教育・保育事業を利用していましたか。(〇はいくつでも)
 ※ここでいう教育・保育事業とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園、保育園、認定こども園など。

- 1 幼稚園（通常就園時間の利用。逗子市には、5園（「かぐのみ幼稚園」「逗子幼稚園」「第二逗子幼稚園」「聖和学院幼稚園」「聖マリア幼稚園」）があります。
- 2 幼稚園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- 3 認可保育所（都道府県等の認可を受けたもの。逗子市には（「湘南保育園」「小坪保育園」「双葉保育園」「沼間愛児園」「桜山保育園」「湘南アイルド逗子保育園」「逗子なないろ保育園」）があります。）
- 4 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設。逗子市内にはありません）
- 5 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
- 6 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設。（逗子市では平成27年3月まで「湘南アイルド」は県の認定保育施設でした。）
- 7 その他の認可外の保育施設（逗子市には1園「ごかんのもり」があります。（平成29年3月まで「あにえるち保育室」は認可外施設として運営していました。）
- 8 ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
- 9 その他（）

お子さんの放課後等の過ごし方について

問 9 「放課後（平日の小学校終了後）」「長期の学校休業日（夏休み・冬休み・春休みなど）」「土曜日」には、主にどのような場所で過ごしていますか。(〇はいくつでも)

また、それぞれ該当する週あたりの日数を記入してください（数字で）。

放課後児童クラブ（学童保育）は利用時間も記入してください（24時間制で）。

(1) 放課後の現状（〇はいくつでも）

- | | | | |
|---|---|------|---|
| 1 自宅-----週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 2 祖父母宅や友人・知人宅-----週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 3 習い事（音楽・楽器教室、各スポーツクラブ、学習塾など）---週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 4 ふれあいスクール-----週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 5 放課後児童クラブ（学童保育）-----週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | 下校時から <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 時まで |
| 6 ファミリー・サポート・センター-----週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 7 公共施設（図書館、公園、体験学習施設スマイルなど）-週 | <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> | 日くらい | |
| 8 その他（ ） | | | |

(2) 長期の学校休業日（夏休み・冬休み・春休みなど）の現状（〇はいくつでも）

放課後児童クラブを利用している方は、利用している時間を（例）9時から17時までのように24時間制でお答えください。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（音楽・楽器教室、各スポーツクラブ、学習塾など）---	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
		<input type="text"/>	時から
		<input type="text"/>	時まで
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 公共施設（図書館、公園、体験学習施設スマイルなど）-	週	<input type="text"/>	日くらい
8 その他（			）

(3) 土曜日の現状

該当するものに〇をつけ、それぞれ、1ヶ月の利用回数【土曜日が月に4回と考えてください】と1日(1回)の利用時間を数字で記入してください。放課後児童クラブを利用している方は、利用している時間を（例）9時から17時までのように24時間制でお答えください。

1 自宅-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間/日
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間/日
3 習い事（音楽・楽器教室、各スポーツクラブ、学習塾など）	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間/日
4 放課後児童クラブ（学童保育）---	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで	<input type="text"/>
			<input type="text"/>		回/月
			<input type="text"/>		時間/日
5 ファミリー・サポート・センター-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間/日
6 公共施設（図書館、公園、体験学習施設スマイルなど）----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間/日
7 その他（					）

問10 「放課後児童クラブ（学童保育）」と「ふれあいスクール」の違いをご存知ですか。

1 知っている	2 少し知っている	3 あまり知らない
4 全く知らない	5 その他（	）

※この調査票の3ページ目に説明文がありますので、ご存知ない方は、ご参考にしてください。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用している方

問11 放課後児童クラブ(学童保育)は何年生まで利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|----------|-------|
| 1 1年生 | 2 2年生 | 3 3年生 | 4 4年生 |
| 5 5年生 | 6 6年生 | 7 その他() | |

問12 お子さんについて、土曜日と長期学校休業日(夏休み・冬休み・春休みなど)に、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。((1)(2)それぞれに〇は1つ)
また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時~18時のように24時間制
でご記入ください。(数字を記入)

(1) 土曜日(希望)

- | | | | |
|----------------------|-----|---|---|
| 1 低学年(1~3年生)の間 利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 | |
| 2 高学年(4~6年生)の間も利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> | 時から <input type="text"/> <input type="text"/> |
| 3 利用する必要はない | | | 時まで |

(2) 長期の学校休業日(夏休み・冬休み・春休みなど)(希望)

- | | | | |
|----------------------|-----|---|---|
| 1 低学年(1~3年生)の間 利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 | |
| 2 高学年(4~6年生)の間も利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> | 時から <input type="text"/> <input type="text"/> |
| 3 利用する必要はない | | | 時まで |

問13 放課後児童クラブ(学童保育)を利用して、保護者から見て満足していますか。

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 普通 | 4 やや不満 | 5 不満 |
|------|--------|------|--------|------|

問14 放課後児童クラブ(学童保育)に今後望むことは何ですか。(3つまで〇)

- | | | |
|------------|-----------------|---------------|
| 1 過ごし方の充実 | 2 指導員の体制の充実 | 3 ボランティアの協力拡大 |
| 4 施設の充実 | 5 保護者との連携強化 | 6 学校との連携強化 |
| 7 地域との連携強化 | 8 保護者の負担軽減(運営等) | 9 実施時間の延長 |
| 10 児童の安全確保 | 11 おやつので充実 | 12 たより等の充実 |
| 13 その他() | | 14 特になし |

ふれあいスクールを利用している方

問15 ふれあいスクールは何年生まで利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|----------|-------|
| 1 1年生 | 2 2年生 | 3 3年生 | 4 4年生 |
| 5 5年生 | 6 6年生 | 7 その他() | |

放課後児童クラブ(学童保育)、ふれあいスクールのいずれも利用していない方

問19 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|------------------------|
| 1 特に利用する必要がない | 2 保育内容や質に不安がある |
| 3 利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない | |
| 4 利用料がかかる・高い(放課後児童クラブは有料ですが、ふれあいスクールは無料です) | |
| 5 利用料がわからない | 6 自分の子どもが対象者になるのかわからない |
| 7 利用方法(手続き等)がわからない | |
| 8 その他() | |

問20 今後放課後児童クラブ(学童保育)を利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1 利用したい | 2 条件等によっては利用したい | 3 利用したくない |
| 4 利用する必要がない | 5 わからない | |

問21 今後ふれあいスクールを利用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1 利用したい | 2 条件等によっては利用したい | 3 利用したくない |
| 4 利用する必要がない | 5 わからない | |

子どもの育ちをめぐる環境について(すべての方)

問22 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない |

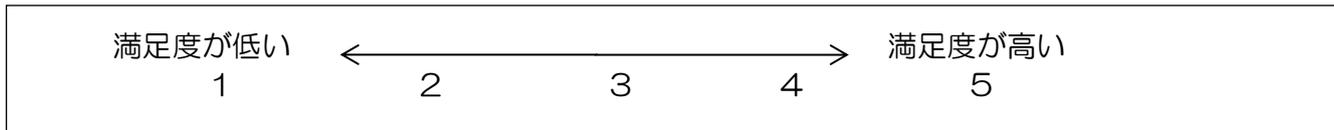
問23 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 いる/ある→問23-1へ | 2 いない/ない→問24へ |
|----------------|---------------|

問23-1 問23で「1 いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 祖父母等の親族 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 小学校の先生 |
| 5 幼稚園・保育所等の先生 | 6 スクールカウンセラー・相談員 |
| 7 民生委員・児童委員 | 8 かかりつけの医師 |
| 9 自治体の子育て関連担当窓口 | 10 その他(【例】インターネット) |

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)



お子さんの保護者の就労状況について

問25 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)をうかがいます。

(1) **父親**【**母子**家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

- | | | |
|----------------------------------|---|---------|
| 1 フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない | } | →(1)-1へ |
| 2 フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である | | |
| 3 パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない | } | →問28へ |
| 4 パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である | | |
| 5 以前は就労していたが、現在は就労していない | | |
| 6 これまで就労したことがない | | |

(1) -1 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1 週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間

(1) -2 (1) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず 08 時 10 分~18 時 00 分のように、24 時間制 10 分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
--

(2) **母親**【**父子**家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5 以前は就労していたが、現在は就労していない 6 これまで就労したことがない	} → (1) -1 へ } → (2) へ
--	---------------------------

※フルタイム=1週5日程度・1日8時間程度の就労。パート・アルバイト=「フルタイム」以外の就労。

(2) -1 (2) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1 週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1 日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間

(2) -2 (2) で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず 08 時 10 分~18 時 00 分のように、24 時間制 10 分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
--

ファミリー・サポート・センターと体験学習施設について

問26 ファミリー・サポート・センターについて

(1) 小学生まで利用できることを知っていますか。

- 1 知っている。 2 知らない

(2) これまでに利用したことがありますか。

- 1 はい →問27へ 2 いいえ

(3) 今後利用したいと思えますか。

- 1 はい 2 いいえ

問27 ファミリー・サポート・センターを利用したことがある方に伺います。
どのようなときに利用しましたか。(〇はいくつでも)

- 1 私用(買い物、子どもや親の習い事等) 2 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院 等
3 不定期の就労 4 その他()

問28 第一運動公園内に体験学習施設スマイルがあります。お子さんはどのような施設やサービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

(1) 利用したことがある施設

- 1 アトリエ(読書、ボードゲーム、工作等) 2 スタジオ(ダンス、音楽等)
3 スポーツルーム(スポーツ、文化的活動等) 4 学習室
5 乳幼児向けプレイルーム 6 ラウンジ(憩いの場)
7 カフェ 8 その他()
9 特に利用したい施設はない

(2) 利用したことがあるサービス

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 ものづくり体験教室（工作・クラフトなど） | 2 スマイルまつりや音楽会等のイベント |
| 3 絵本・紙芝居など読み聞かせ | 4 ダンス系の教室 |
| 5 スポーツ系の教室 | 6 料理系の教室 |
| 7 ボランティア等体験教室 | 8 異年齢交流の場 |
| 9 カフェ | 10 その他（ |

お子さんの病気の際の対応について

問29 この1年間にお子さんが病気やケガで小学校をお休みしたことはありますか。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 あった→問 29-1 へ | 2 なかった→問 30 へ |
|----------------|---------------|

問29-1 お子さんが病気やけがで小学校をお休みした場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。（〇はいくつでも）また、それぞれの日数もご記入ください（数字を記入）。

（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1 父親が休んだ -----	□	□	日	} →
2 母親が休んだ -----	□	□	日	問29-2 へ
3 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた -----	□	□	日	} → 問30 へ
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった -----	□	□	日	} →
5 病児・病後児の保育を利用した -----	□	□	日	
6 ベビーシッターを利用した -----	□	□	日	
7 ファミリー・サポート・センターを利用した -----	□	□	日	
8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた -----	□	□	日	
9 その他 () -----	□	□	日	} → 問29-5 へ

問29-2 問29-1で「1」「2」のいずれかに〇をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（〇は1つ）また、その日数もご記入ください。（数字を記入）なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したい →	□	□	日	→問 29-3 へ
2 利用したいとは思わない →問 29-4 へ				

問29-3 問29-2で「1」（できれば、病児・病後児保育施設等を利用したい）に〇をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。（〇はいくつでも）

1 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4 その他 ()
→問 30 へ

保護者の考えについて

問32 子育て支援（教育を含む）等に関して、ご意見ご要望などありましたらご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

令和●年●月●日（●）までに各小学校のクラス担任までご提出ください。

子どもの生活実態に関するアンケート調査のお願い

(中学生、高校生調査)

この調査は、中学生・高校生のみなさまの日常生活のことについてお聞きするものです。
調査の結果などを参考に、今後の様々な支援策に反映される、とても大切な調査となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年●月

逗子市長

<ご回答にあたって>

- 右のQRコードを読み取って、インターネットにて回答してください。
http:*****
- 令和5年●月現在の状況を教えてください。
- 中学生または高校生のあなたが自分で教えてください。
- 名前を書く必要はありません。
- テストではないので、まちがった答えや正しい答えはありません。また答えたくない質問には答えなくても大丈夫です。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選びようにしてください。
- あなたが書いた内容は、家族の人や先生に見せる必要はありません。

QRコード

この調査の結果については、逗子市の子どものための支援策以外の目的に使用することはありません。
また、回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたりすることは一切ありません。

令和5年●月●日(●)までにインターネットにて回答してください。

■このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

逗子市 教育部子育て支援課子育て支援係
電話：046-873-1111 (内線536)
FAX：046-873-4520

サービス提供事業者等 現況・意向調査

■環境・体制について

問1 園の開所時刻、閉所時刻についてお聞かせください。

開所時刻	閉所時刻

問2 現在の定員、利用者数、待機者数について各年齢別にお聞かせください。

	定員	利用者数	待機者数
0歳			
1歳			
2歳			
3歳			
4歳			
5歳			

問3 保育者の人数について教えて下さい。

(園長、所長、副園長、副所長、主任を除く)

	人数
フルタイムで正規雇用	
パートタイムで正規雇用	
フルタイムで非正規雇用	
パートタイムで非正規雇用	
合計人数	

問4 通常時、園児の昼食は、主にどのように提供していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ①園が給食を提供 | ②園児が昼食(弁当)を持参 |
| ③園児が昼食(弁当)持参と給食 | ④園児が主食を持参し、園が総菜を提供 |
| ⑤給食と園児が主食を持参 | |
| ⑥その他 (|) |

問5 (園が提供している場合、) 昼食をどのように準備していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|----------|
| ①自園の職員が調理 | ②外部業者に委託 |
| ③外部業者に委託して自園で調理 | |
| ④その他 (|) |

問6 園のIT環境について、次にあげる環境や設備はありますか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ①保育者用の業務用パソコン | ②保育者用の業務用タブレット |
| ③保育者用の業務用スマートフォン | ④保育活動で使用する電子デバイス |
| ⑤園児の安全管理のためのモニターカメラ | ⑥保育活動で使用するテレビモニター |
| ⑦園児用のパソコン | ⑧園児用のタブレット |
| ⑨登園・降園、出欠、バス利用を管理する電子システム | |
| ⑩その他 () | |

■活動の実態について

問7 通常の保育の時間にクラス全員に対して、以下のような活動を行っていますか。(複数選択可)

- | | | |
|-------------|-------------|----------|
| ①体操 | ②音楽活動 | ③数、計算の練習 |
| ④ひらがなの読みの練習 | ⑤ひらがなの書きの練習 | ⑥英語 |
| ⑦パソコン | ⑧漢字 | |

問8-1 (幼稚園のみの設問) 預かり保育を実施していますか。

- | | |
|---------|----------|
| ①実施している | ②実施していない |
|---------|----------|

問8-2 預かり保育の実施日はいつですか。(複数選択可)

- | | | |
|----------|------|--------|
| ①平日に毎日 | ②土曜日 | ③長期休暇中 |
| ④その他 () | | |

問9-1 (幼稚園のみの設問) 2歳児を受け入れていますか。(幼稚園)

- | | |
|----------|-----------|
| ①受け入れている | ②受け入っていない |
|----------|-----------|

問9-2 受け入れる頻度はどのくらいですか。(複数選択可)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ①平日に毎日 | ②週に3, 4日 | ③週に1, 2日 |
| ④月に1~3日 | ⑤年に数回 | |
| ⑥その他 () | | |

■経営課題について

問10 保育実施上、運営上の課題の課題についてお聞かせ下さい。

--

■子育て支援策について

問 11 貴園では、次にあげる子育て支援活動を行っていますか。(複数選択可)

- | | | |
|-----------------|---------------|---------------|
| ①子育て相談 | ②園庭の開放 | ③保育室などの施設開放 |
| ④父親と子どもの交流の場の提供 | | ⑤子育てサークルなどの支援 |
| ⑥子育て情報の提供 | ⑦子育て講座・講演会の実施 | |
| ⑧一時保育 | ⑨親子登園 | |

問 12 保護者の園に対する要望についてお聞かせ下さい。

--

問 13 園の情報や園児の様子をどのような方法で園児の保護者に伝えていますか。(複数選択可)

- | | |
|-----------|----------|
| ①個人面談 | ②園による掲示物 |
| ③園のホームページ | ④電子メール |
| ⑤紙の連絡帳 | ⑥家庭訪問 |
| ⑦その他 (|) |

最後にご担当者・連絡先をご記入ください。

貴園名	
施設の種類 (下欄より選択)	
ご担当者職・氏名	
電話番号	
E-mail	

- | |
|---|
| ① 幼稚園 (幼稚園の場合、預かり保育の実施の有無) |
| ② 認可保育所 |
| ③ 認定こども園 |
| ④ 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの) |
| ⑤ 家庭的保育事業 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員5人以下のもの) |
| ⑥ 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設) |
| ⑦ 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) |
| ⑧ その他の認可外の保育施設 |
| ⑨ 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| ⑩ ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) |
| ⑪ 企業主導型保育事業 (認可保育所ではないが、国庫補助で運営される施設) |

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

「逗子市子ども・子育て支援事業計画の改定」に伴う アンケート調査(未就学児調査)

～調査の趣旨とご協力のお願い～

市民のみなさまには、日頃より逗子市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成27年3月に『逗子市子ども・子育て支援事業計画』(平成27年度～平成31年度)を策定し、誰もが住みなれた地域で安心して子どもを産み育てることのできる総合的な支援体制の充実と、地域と力を合わせてともに子どもを育むまちづくりを目指してきたところです。

この度、平成32年度からの次期『逗子市子ども・子育て支援事業計画』を改定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、本調査を行います。

今回の調査では、市内にお住まいの小学校就学前の児童(平成24年4月2日から平成30年10月1日の間に生まれた児童)がおられる全ての世帯を対象に各ご家庭に1通ずつ配布しています。

また、回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成30年12月

逗子市長

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、あて名に記載されているお子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 設問には、平成30年10月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答で、「その他」に〇をつけられた場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 20頁以降に参考資料として「用語の解説」があります。回答の参考にしてください。
- 記入されましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

平成31年1月7日(月)までにご投函ください。

- このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

逗子市 教育部子育て支援課子育て支援係
電話：046-873-1111(内線536)
FAX：046-873-4520

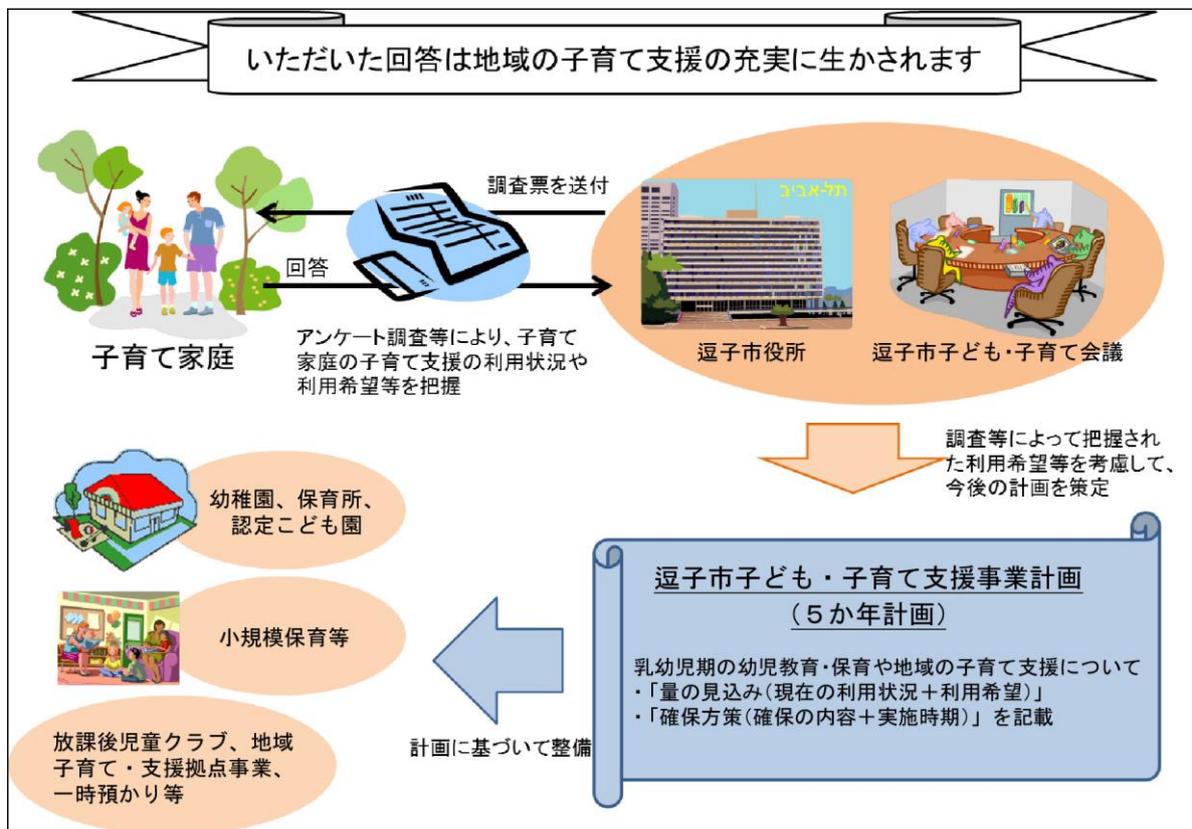
回答するに当たってお読みください

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、国の指針に基づき全国の市町村で実施されます。

- 子ども・子育て支援制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



お住まいの地域について

問1 お住まいの地区(○は1つ)

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1 逗子 | 2 桜山 | 3 沼間 | 4 池子 |
| 5 山の根 | 6 久木 | 7 小坪 | 8 新宿 |

問1-2 4歳以上のお子さんのみお答えください。お住まいの小学校区はどちらですか。

- | | | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 1 逗子小学校区 | 2 沼間小学校区 | 3 池子小学校区 | 4 久木小学校区 | 5 小坪小学校区 |
|----------|----------|----------|----------|----------|

封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月(数字で記入)

平成 年 月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは宛名のお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入) 2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方は宛名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 () |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者はいない |
|----------|-----------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのは宛名のお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|-----------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 | 4 主に祖父母 | 5 その他 () |
|---------|--------|--------|---------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方は宛名のお子さんからみてどなた(施設)ですか。(○はいくつでも)

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|-------|-------|
| 1 父母ともに | 2 母親 | 3 父親 | 4 祖父母 | 5 幼稚園 |
| 6 保育所 | 7 認定こども園 | 8 その他 () | | |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | | | |
|------|------|-------|-------|----------|-----------|
| 1 家庭 | 2 地域 | 3 幼稚園 | 4 保育所 | 5 認定こども園 | 6 その他 () |
|------|------|-------|-------|----------|-----------|

問8-1 宛名のお子さんが普段保護者と遊ぶのはどのような場所ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 自宅・祖父母等親戚の家 | 2 友だちの家 |
| 3 公園・海岸 | 4 市の親子遊び場の施設 |
| 5 図書館 | 6 市民交流センター |
| 7 逗子アリーナ | 8 公民館 |
| 9 体験学習施設スマイル | 10 その他 () |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問9-1へ |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ 問9-2へ |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5 いずれもない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--|--------|
| 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他（ ） | |

問9-2 問9で「3」または「4」に〇をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|--|--------|
| 1 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2 友人・知人の身体的負担が大きく心配である | |
| 3 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6 その他（ ） | |

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 いる／ある ⇒ 問10-1へ | 2 いない／ない ⇒ 問11へ |
|------------------|-----------------|

問10-1 問10で「1 いる／ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--------------------|----------------------------------|
| 1 祖父母等の親族 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 子育て支援センター等（地域子育て支援拠点、児童館等）・NPO |
| 5 保健所・保健センター | 6 保育士 |
| 7 幼稚園教諭 | 8 民生委員・児童委員 |
| 9 かかりつけの医師 | 10 市の子育て関連担当窓口（保健師・相談員等） |
| 11 その他（【例】インターネット） | |

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

--

宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5 以前は就労していたが、現在は就労していない 6 これまで就労したことがない	} ⇒ (1) - 1へ } ⇒ (2)へ
--	------------------------------

※ フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等＝「フルタイム」以外の就労

(1) - 1 (1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たり <input style="width: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 20px;" type="text"/> 時間
---	--

(1) - 2 (1)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時10分～18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	帰宅時刻 <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分
--	--

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(○は1つ)

1 フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2 フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3 パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4 パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5 以前は就労していたが、現在は就労していない 6 これまで就労したことがない	} ⇒ (2) - 1へ } ⇒ 問14へ
--	------------------------------

※ フルタイム＝1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等＝「フルタイム」以外の就労

(2) - 1 (2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たり <input style="width: 20px;" type="text"/> 日	1日当たり <input style="width: 20px;" type="text"/> 時間
---	--

(2) - 2 (2)で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時10分～18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻 <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分	帰宅時刻 <input style="width: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 20px;" type="text"/> 分
--	--

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3 または 4」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方
 にかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親	1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
(2) 父親	1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある 2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望 4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5」(以前は就労していたが、現在は就労していない) または「6」(こ
 れまで就労したことがない) に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。(それぞれ○は1つ)(口内に数字を記入)

(1) 母親

(1) 母親	1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 0 10px;"> →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> <td></td> </tr> </table>	{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}		→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}					
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間						
(2) 父親	1 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない) 2 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外) </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 0 10px;"> →1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間 </td> <td></td> </tr> </table>	{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}		→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	
{	ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労) イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)	}					
	→1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間						

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(○は1つ)

1 利用している ⇒ 問15-1へ

2 利用していない ⇒ 問15-5へ

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1」(利用している)に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答え下さい。(○はいくつでも)

- 1 幼稚園(通常の就園時間の利用)
- 2 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
- 4 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)
- 6 家庭的保育事業(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員5人以下のもの)
- 7 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- 9 その他の認可外の保育施設
- 10 居宅訪問型保育(保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11 ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)
- 12 企業主導型保育事業(認可保育所ではないが、国庫補助で運営される施設)
- 13 その他()

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育について、現在どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かをお答えください。(数字を記入) 時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。問 15-1 で複数を選択された方はそれらの合計を記載してください。

(1) 現在

1 週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

(2) 希望

1 週当たり 日 1日当たり 時間 (時～ 時)

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。(○は1つ)

1 逗子市内 2 他の市区町村

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育てをしている方が現在就労している
- 3 子育てをしている方が就労予定がある／求職中である
- 4 子育てをしている方が家族・親族などを介護している
- 5 子育てをしている方が病気や障害がある
- 6 子育てをしている方が学生である
- 7 子育てをしている方が妊娠している／産後である
- 8 その他 ()

問 15-5 問 15 で「2」(利用していない)に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
- 2 子どもの祖父母や親戚の人がみている
- 3 近所の人や父母の友人・知人がみている
- 4 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
- 8 子どもがまだ小さいため (____ 歳くらいになったら利用しようと考えている)
- 9 その他 ()

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考えている事業をお答えください。(○はいくつでも) なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(料金設定は 20 頁参照)

- 1 幼稚園 (通常就園時間の利用)
- 2 幼稚園の預かり保育 (通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
- 3 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)
- 4 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
- 5 小規模保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね 6～19 人のもの)
- 6 家庭的保育事業 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員 5 人以下のもの)
- 7 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
- 8 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
- 9 その他の認可外の保育施設
- 10 居宅訪問型保育 (保育者が子どもの家庭で保育する事業)
- 11 ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)
- 12 企業主導型保育事業 (認可保育所ではないが、国庫補助で運営される施設)
- 13 その他 ()

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答え下さい。(①～⑩の事業ごとに A、B、C それぞれ○は1つ) なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①母親両親教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②離乳食教室・2歳児すくすく教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③子育て相談総合窓口（市子育て支援課）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④教育研究相談センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤児童相談所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥こども発達支援センター（療育相談）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦民生委員・児童委員	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域安心生活サポート事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨社会福祉協議会	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩プレイリヤカー	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子育て ROOM 陽だまり	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫保育所や幼稚園の園庭等開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ずしファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭ずし子育てわくわくメール	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮体験学習施設スマイル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰ほっとスペース	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱親子遊びの場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 19-1 上記の保育所・幼稚園・親子の居場所などの子育て支援に関する情報を、どこから入手していますか。(○はいくつでも)

1 市の窓口・電話（市子育て支援課・児童青少年課など） 2 市の広報誌「広報ずし」 3 市が発行するチラシ等 4 市のホームページ 5 子育て支援センターや施設 6 地域の団体等が発行する子育て情報誌、パンフレット、チラシ等 7 民間企業等が発行する子育て雑誌、パンフレット、チラシ等 8 知人・友人 9 インターネット（市のホームページ以外） 10 その他（)
---	---

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字を記入）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
 ※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
--	-----	---------------------------

(2) 日曜・祝日

1 利用する必要はない 2 ほぼ毎週利用したい 3 月に1～2回は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
--	-----	---------------------------

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で「3」(月に 1～2回は利用したい) に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 月に数回仕事が入るため 3 親族の介護や手伝いが必要なため 5 その他（	2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため 4 息抜きのため)
--	--

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください（数字を記入）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1 利用する必要はない 2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい 3 休みの期間中、週に数日利用したい	} ⇒	利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
---	-----	---------------------------

問 21-1 問 21 で「3」(週に数日利用したい) に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1 週に数回仕事が入るため 3 親等親族の介護や手伝いが必要なため 5 その他（	2 買い物等の用事をまとめて済ませるため 4 息抜きのため)
--	---------------------------------------

問 22-5 問 22-1で「3～9」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(○は1つ) また、「3」から「9」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。(数字を記入)

1 できれば仕事を休んで看たい → <input type="text"/> <input type="text"/> 日	⇒ 問 23 へ
2 休んで看ることは非常に難しい	⇒ 問 22-6 へ

問 22-6 問 22-5で「2」(休んで看ることは非常に難しい)に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 子どもの看護を理由に休みがとれない	2 自営業なので休めない
3 休暇日数が足りないので休めない	4 その他 ()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(○はいくつでも) また、その場合の1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。(数字を記入)

1 一時預かり----- (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	} ⇒ 問 24 へ
2 幼稚園の預かり保育----- (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3 ファミリー・サポート・センター----- (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
4 夜間養護等事業：トワイライトステイ----- (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5 ベビーシッター-----	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6 その他 () -----	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7 利用していない		

問 23-1 問 23で「7」(利用していない)に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 特に利用する必要がない
2 利用したい事業が地域にない
3 地域の事業の質に不安がある
4 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5 利用料がかかる・高い
6 利用料がわからない
7 自分が事業の対象者になるのかわからない
8 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9 その他 ()

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労の目的で、利用する希望がありますか。
(○は1つ)

1 利用したい ⇒ 問 24-1 へ	2 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ
---------------------------	-----------------------------

問 24-1 問 24 で「1」(利用したい)と回答された方にうかがいます。利用の目的は何ですか。(○はいくつでも) また、必要な日数も記入してください。(数字を記入) なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
2 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
3 不定期の就労-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
4 その他() -----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日
合計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日		

問 24-2 問 24 で「1」(利用したい)と回答された方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(○はいくつでも)

1 大規模施設で子どもを保育する事業(例: 幼稚園・保育所等)
2 小規模施設で子どもを保育する事業(例: 地域子育て支援拠点等)
3 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例: ファミリー・サポート・センター等)
4 その他()

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(○はいくつでも) (預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、日数もご記入ください。(数字を記入)。

1 (同居者を含む)親族・知人にみてもらった-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日	⇒ 問 25-1 へ	
2 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した----- (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/>	日	}	
3 2以外の保育事業----- (認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した)	<input type="text"/> <input type="text"/>	日		⇒ 問 26 へ
4 仕方なく子どもを同行させた-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日		
5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日		
6 その他()を利用した-----	<input type="text"/> <input type="text"/>	日		
7 みてもらうことはなかった				

問 25-1 問 25 で「1」((同居者を含む)親族・知人にみてもらった)と回答された方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。(○は1つ)。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも） また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール※1-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 その他（公民館、公園など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
8 現時点ではわからない			

※1 小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも） また、それぞれ希望する週当たり日数をご記入ください。（数字を記入）なお、「放課後児童クラブ」の場合には、利用する時間もご記入ください。（数字を記入）時間は必ず（例）18 時のように 24 時間制でご記入ください。

※ だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール※1-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
		→下校時から	<input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 その他（公民館、公園など）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
8 現時点ではわからない			

※1 小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 28 問 26 または問 27 で「6」(放課後児童クラブ(学童保育))に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれに○は1つ) また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。(数字を記入)

(1) 土曜日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

(2) 日曜・祝日

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。(○は1つ) 事業の利用には、一定の利用料がかかります。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください。(数字を記入)

1 低学年(1~3年生)の間は利用したい 2 高学年(4~6年生)になっても利用したい 3 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯 □□時から□□時まで
---	---	------------------------

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一枠に一文字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ↳ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>	1. 働いていなかった 2. 取得した(取得中である) 3. 取得していない ↳ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 取得していない理由(下から番号を選んでご記入ください)(いくつでも) </div>

- | | |
|---|--|
| 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
3 (産休後に)仕事に早く復帰したかった
5 昇給・昇格などが遅れそうだった
7 保育所(園)などに預けることができた
9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10 子育てや家事に専念するため退職した
11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13 育児休業を取得できることを知らなかった
14 産前産後の休暇(産前 習慣、産後 8週間)を取得できることを知らず、退職した
15 その他(| 2 仕事が忙しかった
4 仕事に戻るのが難しそうだった
6 収入減となり、経済的に苦しくなる
8 配偶者が育児休業制度を利用した
) |
|---|--|

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（○は1つ）

- | |
|---------------------------|
| 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2 育児休業給付のみ知っていた |
| 3 保険料免除のみ知っていた |
| 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問 30-2 問 30で「2」（取得した（取得中である））に○をつけた方にうかがいます。（該当しない方は、問 31へ）育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親、父親それぞれに○は1つ）

(1) 母親	(2) 父親
1 育児休業取得後、職場に復帰した	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2 現在も育児休業中である	2 現在も育児休業中である
3 育児休業中に離職した	3 育児休業中に離職した

問 30-3 問 30-2で「1」（育児休業取得後、職場に復帰した）に○をつけた方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（○は1つ）

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親	1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 それ以外だった
(2) 父親	1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2 それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）

(1) 母親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
(2) 父親	実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったのですか。（数字を記入）。

(1) 母親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月
(2) 父親	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> 月

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方に、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親	1 希望する保育所に入るため	2 配偶者や家族の希望があったため
	3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5 その他 ()	
②父親	1 希望する保育所に入るため	2 配偶者や家族の希望があったため
	3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
	5 その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 (〇はいくつでも)

①母親	1 希望する保育所に入れなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
	3 配偶者や家族の希望があったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5 子どもをみてくれる人がいなかったため 6 その他 ()	
②父親	1 希望する保育所に入れなかったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
	3 配偶者や家族の希望があったため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
	5 子どもをみてくれる人がいなかったため 6 その他 ()	

問 30-7 問 30-2 で「1」(育児休業取得後、職場に復帰した)に〇をつけた方にうかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(〇は1つ)

(1) 母親	1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
	2 利用した
	3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)
(2) 父親	1 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
	2 利用した
	3 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

問 30-8 問 30-7で「3」(利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった))に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

(1) 母親	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2 仕事が忙しかった 3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7 子育てや家事に専念するため退職した 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10 その他()
(2) 父親	1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった 2 仕事が忙しかった 3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した 6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 7 子育てや家事に専念するため退職した 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった 10 その他()

問 30-9 問 30-2で「2」(現在も育児休業中である)と○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○は1つ)

(1) 母親	1 1歳になるまで育児休業を取得したい 2 1歳になる前に復帰したい
(2) 父親	1 1歳になるまで育児休業を取得したい 2 1歳になる前に復帰したい

問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(○は1つ)

満足度が低い ←————→ 満足度が高い 1 2 3 4 5

問 32 教育、保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

妊娠・出産について

問 33 宛名のお子さんの妊娠中に妊婦健康診査を受診しましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 定期的に受診した | 2 だいたい受診した |
| 3 あまり受診しなかった | 4 一度も受診しなかった |

問 34 問 33 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 仕事が忙しかった | 2 家事や育児で忙しかった |
| 3 施設が遠かった | 4 待ち時間が長かった |
| 5 料金が高かった | 6 順調だと自信があった |
| 7 きょうだい児を連れていくのが大変だった | 8 その他 () |

問 35 妊娠中から現在までで、子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがありましたか。(それぞれに○は1つ)

	よくあった	時々あった	ほとんどなかった	なかった
妊娠中	1	2	3	4
出産後、半年くらいの間	1	2	3	4
現在	1	2	3	4

問 36 妊娠中や出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| 1 母親の健康面の相談 | 2 赤ちゃんの育児相談 |
| 3 助産師・保健師等の家庭訪問 | 4 家事や赤ちゃんの沐浴などのヘルパー |
| 5 子育て中の人同士の交流 | 6 子育て経験者から気軽に話を聞ける場や機会の提供 |
| 7 父親向けの育児講座 | 8 行政による子育て情報の提供 |
| 9 育児方法を習得する機会 | 10 助産所での短期入所等による産後のケア |
| 11 経済面での補助 | 12 きょうだい児の一時預かり |
| 13 その他 () | |

子育てについて

問 37 子育てに関してインターネット(パソコンやスマートフォン等)をどのくらい利用しますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 毎日利用する | 2 ときどき利用する・週に数回程度 |
| 3 ごくたまに利用する・1カ月に数回程度 | 4 滅多に利用しない・数か月に1回程度 |
| 5 利用しない | 6 その他 () |

問 38 子育てをしていて、つらかったことは何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|--|
| 1 自分の自由になる時間が持てないこと | |
| 2 経済的に負担が大きいこと | |
| 3 社会的に取り残されているような孤立感を感じる | |
| 4 配偶者の子育てへの協力が得られないこと | |
| 5 子どもの成長に対する不安があること | |
| 6 子どもが就労のさまたげになっていると感じていること | |
| 7 子どもを通しての友人との付き合いがうまくいかない・苦痛であること | |
| 8 子どもを持つよるこびを実感できないこと | |
| 9 その他 () | |
| 10 特になし | |

問 39 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 2 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 3 親の不安や悩みの相談 | 4 子育て中の親同士の仲間づくり |
| 5 子育てに関する総合的な情報提供 | 6 父親の育児参加に関する意識啓発 |
| 7 子どもの病気や障がいについての相談 | 8 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提案 |
| 9 子育てについての講座 | 10 その他 () |
| 11 わからない | 12 特にない |

問 40 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 交通機関や建物、道路について構造や放置自転車が多いことなど、ベビーカーでの移動に不自由なこと |
| 2 子どもが安全に通れる道路がないこと |
| 3 安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと |
| 4 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと |
| 5 公共施設や公共機関に子ども連れに対しての理解があまり無いこと |
| 6 いざというときに子どもを預かってくれる人がいないこと |
| 7 周囲の人が子ども連れを温かい目で見えてくれないこと |
| 8 親自身が友達を作れる場や機会がないこと |
| 9 子育ての経験者や先輩ママと知り合えないこと |
| 10 その他 () |
| 11 特にない |

お住まいと世帯の年収について

問 41 現在のお住まい(○は1つ)

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 2 持ち家(分譲マンション等の集合住宅) |
| 3 民間の借家(一戸建て) | 4 民間の借家(賃貸マンション・アパートなどの集合住宅) |
| 5 公団・公社・公営の賃貸住宅・アパート | 6 社宅・公務員住宅などの給与住宅 |
| 7 その他 () | |

問 42 世帯の年収(○は1つ)

- | | | | |
|---------------|-----------------|---------------|---------------|
| 1 200万円未満 | 2 200~300万円未満 | 3 300~400万円未満 | 4 400~500万円未満 |
| 5 500~700万円未満 | 6 700~1,000万円未満 | 7 1,000万円以上 | |

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、

平成31年1月7日(月)までにご投函ください。

用語	内容	問合せ先
幼稚園	満3歳になった次の4月～小学校入学前までの幼児を対象に、学校として幼児教育を行っている。(一部の園で、満3歳になった時点で随時受入)市内には5園あり、すべて私立幼稚園。(かくのみ幼稚園、逗子幼稚園、第二逗子幼稚園、聖和学院幼稚園、聖マリア幼稚園) ◆利用料：おおむね24,000円～29,000円/月。入園料・月謝等は園によって異なる。	保育課
幼稚園の預かり保育	幼稚園の正規の教育時間(1日4時間が標準)の前後や夏休み期間中などに、在園児を預かり保育。市内では4園が実施。	保育課
認定こども園	保育所と幼稚園の機能を併せ持つ施設。逗子市内にはありません。 ◆利用料：おおむね認可保育所と同様。	保育課
認可保育所 (公立・私立)	保護者や同居の親族が仕事・病気などで、昼間にお子さん(生後8週～小学校入学前まで)を保育できない場合に、保護者に代わって保育する児童福祉施設。市内に公立2園(湘南保育園、小坪保育園)、私立5園。(双葉保育園、沼間愛児園、桜山保育園、湘南アイルド逗子保育園、逗子なないる保育園)◆利用料：世帯の所得(同居者等を含む)とお子さんの年齢によって決められている。18時以降は別途延長保育料がかかる。	保育課
小規模保育施設	0歳児～2歳児までのお子さんを対象とした、定員6人～19人の認可保育施設。市内に3施設。(ごかんのいえ、逗子しらかば乳児保育園、逗子幼稚園付属乳児部)◆利用料：認可保育所と同様。	保育課
家庭的保育事業	0歳児～2歳児までのお子さんを対象とし、家庭的保育者が自宅等にて5人以下の少人数の保育を行う。市の認可事業。市内に1か所。(あにえるち保育室) ◆利用料：認可保育所と同様。	保育課
事業所内保育施設	企業や病院などが従業員の為に設置した保育施設。原則として従業員のみが利用。 ◆利用料：各施設が設定。	保育課
企業主導型保育事業	企業が従業員の働き方に応じた柔軟な保育サービスを提供するために設置する国庫補助による認可外保育施設です。従業員以外の児童を預かる「地域枠」もあります。市内に2園。(YBS逗子、ココカラデザイン保育園山本メディカルひでまり園) ◆利用料：各施設が設定。	保育課
認可外保育施設	国・自治体の設置認可を受けてない保育施設の総称。市内に1園。(ごかんのもり)。 ◆利用料：各施設が設定。	保育課
一時預かり	保護者の病気や冠婚葬祭、育児疲れのリフレッシュなど、日頃保育所を利用していなくても、一時的に利用できる制度。市内では私立保育園4園で実施。◆利用料：各園が設定	保育課
ファミリーサポートセンター	所在地は逗子市桜山1-5-42、子育て支援センターに併設。会員制で、子どもの保育所等への送迎や一時預かりなどの互助援助活動。病児・病後児預かりも行う。支援会員・依頼会員・両方会員がある。小学6年生まで利用可◆利用料は、平日(7時～20時)1時間700円(病児900円)◆土日祝・時間外1時間900円(病児1,100円)ひとり親、病児の補助制度もある。◆その他実費は保護者負担。	子育て支援課
ベビーシッター	子どもを家庭や指定された場所において保育や世話をする人のこと。利用者と事業者との個人契約で、深夜や休日も含めて、個人のニーズに対応して事業者がベビーシッターを派遣するもの。◆利用料：団体・法人等により異なる。	-

地域の子育て支援事業等内容・利用料など

用語	内容	問合せ先
子育て支援センター (地域子育て支援拠点)	逗子市桜山1-5-42に所在。子育てに悩みや不安を抱える保護者に対して、身近で気軽に利用できる支援拠点。自由に過ごせる子育てひろばの他、保健師相談や赤ちゃん相談を行っている。トルトロングやパパ向け講座などのミニ講演会も。子育てアドバイザーが常駐し、小さいお子さんを遊ばせながら育児相談ができる。小坪・沼間親子遊びの場で巡回相談も実施。 ◆利用料 無料	子育て支援課
親子遊びの場	小坪(逗子市小坪5-21-15)と沼間(逗子市沼間1-2-20)の2箇所。乳幼児とその親が気軽に地域の他の親らと交流することができる自由で開放的な場所。貸しスペースとして地域の子育てサークルの活動の場としても利用可能。子育てアドバイザーの巡回相談も週1回。 ◆利用料 無料	子育て支援課
ほっとスペース	乳幼児とその親が自由に利用でき、くつろげる交流の場であり遊びの場。市内に5か所。(逗子・小坪・久木・沼間・池子)。親子体操や手遊び、お誕生日会など。◆利用料 無料	子育て支援課

用語	内容	問合せ先
プレイリヤカー	プレイリヤカーは乳幼児と保護者が地域の公園などで気軽に外遊びをして楽しくすごしてもらうことを目的とし、池子ほっとスペースの一環として行っている。◆利用料：無料	子育て支援課
体験学習施設スマイル	池子1-11-2に所在。児童館機能を持ち児童青少年の健全育成を目的とした施設。多目的室やスポーツルーム、カフェ等を設置。スマイル講座やスマイルまつりなど各種イベントも開催。	子育て支援課
逗子市子ども相談室 (家庭児童相談室)	子ども本人や親等からの心配事や悩み事などの相談の受け付け。逗子市役所内に、設置。月曜日～金曜日8:30～17:15 電話046-871-8801(直通) ◆利用料 無料(電話代はご本人負担)	子育て支援課
民生委員・児童委員	民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱されている委員。社会奉仕の精神をもって、相談・援助を行い地域住民を支援している。守秘義務があり、困りごとがあれば気軽に相談できる。福祉の制度など、さまざまな支援サービスをご紹介します。	社会福祉課
妊婦健康診査	母子保健法に基づき、妊婦及び胎児の健康を確保し健康管理の充実を図るため、実施される健診。補助対象者1人につき14枚の妊婦健康診査費用補助券を母子手帳交付と同時に交付。補助券の利用により、妊婦健康診査費用を市で負担。 ◇市の負担額：妊婦1人あたり最大6万1千円の補助	子育て支援課
こんにちは赤ちゃん訪問事業	お母さんと赤ちゃんが心身ともに健康に生活できるよう、生後4カ月までの赤ちゃんがいる全ての家庭へ助産師・保健師が訪問を行う。	子育て支援課
母親両親教室	妊娠や出産、育児の不安をなくし、健康で元気な赤ちゃんを生み育てることを目的として、母親両親教室を行う。妊婦体操やお風呂の入れ方など基礎知識を学ぶ。土曜開催コースも実施。	子育て支援課
離乳食教室	離乳食開始時期の乳児を対象に、おんぶ体験、離乳食に関するお話、試食、質疑応答を行う。(予約制)。対象月以外でも受講可能。◆利用料：無料	子育て支援課
2歳児すくすく教室	内容：お話(生活・歯・食事について)、育児相談、歯科相談、栄養相談、計測などです。 ◆利用料：無料	子育て支援課
陽だまりサークル	子育て中のお父さんお母さんのリフレッシュ事業として、また親同士の仲間(つながり)づくりの場として、年4回開催。開催中はお子様を保育サポーターに預け、お子さんから離れて親同士が楽しみながら気分転換を図る場となっている。	社会福祉協議会
地域安心生活サポート事業	“地域において孤立しがちなひとり暮らし高齢者や障がい者世帯等を地域で見守り支援していくことにより、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制”を地域が主体となって検討し、取り組む事業。自治会や地域のボランティア(見守りサポーター)が中心となって取り組んでいる。	社会福祉協議会
放課後児童クラブ (学童保育)	保護者が仕事などで放課後家庭にいないお子さんの遊びや生活の場を提供する施設。市内の小学校区毎に1箇所ずつ設置し5箇所あります。 ◆利用料：0円～12,000円/月。延長保育料は別途1000円/月かかります。	保育課
ふれあいスクール	市立小学校の施設を活用し、パートナーと呼ぶ職員等を配置して、放課後の子どもの遊びの場を開設している事業。子どもたちの豊かな人間性の育成を目的としています。◆利用料無料	子育て支援課
こども発達支援センター療育相談 (ひなた)	18歳までの障がいや発達に心配のあるお子さんが将来にわたって、その持てる力を十分に発揮して暮らせるよう、相談や個別支援・勉強会などを通して切れ目なくサポートする。 所在地：逗子市桜山5-20-29(療育教育総合センター1階) 開館日等：月曜日～金曜日(開館時間)8:30～17:15(電話相談・来館相談)9:30～16:30 ※来館予約の受付は17:00まで ◆利用料：無料	療育教育総合センター
こども発達支援センターくろーばー	「自立的で豊かな生活の広がり」を目的として、お子さん一人ひとりの様々な特性に配慮した個別支援計画をもとに、児童発達支援事業や放課後等デイサービスのグループ療育などをとおして、専門的で一貫した支援をご家族や療育相談と協働しながら行う。※児童福祉法に基づく法定サービスになりますので、利用するにあたり所定の手続きが必要となります。 所在地：逗子市桜山5-20-29(療育教育総合センター2階) ◆利用料：800円程度/日 ※世帯の収入状況等により負担上限月額が設けられている。	療育教育総合センター

用語	内容	問合せ先
教育研究相談センター	所在地は、逗子市桜山5-20-29（療育教育総合センター3階）。教育に有用な調査・研究、教員の指導力向上のための研修会などの取り組み及び教育相談などを行い、本市の教育の振興を図る。不登校児童生徒の学習の場として適応指導教室「なぎさ」を開室。また、支援教育推進巡回指導員、巡回スクールカウンセラーを市内小中学校に派遣し、支援教育に関する学校のサポートを行っている。また、市内児童・生徒及びその保護者・教員を対象とし、教育に関する悩み・不安・ストレス等さまざまな要因からくる相談を受けることにより、相談者の心的負担の軽減を図り問題解決の支援を行います。	療育教育総合センター
ずし子育てわくわくメール（メルマガ）	子育てに関するイベントや講座、子どもの健診などお知らせをメールで配信。 0～2歳、3～5歳、6～11歳、12歳～15歳児、16歳～18歳、の5区分があります。 ◆利用料 無料（通信費などは登録者負担）	子育て支援課
社会福祉協議会	逗子市桜山5-32-1に所在。公共性・公益性のある社会福祉団体として、地域福祉の向上や地域福祉事業の推進役として活動を続け、在宅福祉サービス各種相談、ボランティアのコーディネート、子育て支援事業などにも取り組んでいる。	社会福祉協議会
児童養護施設	児童福祉法に基づく児童福祉施設の一つ。保護者がいない、虐待されているなど家庭養育が困難な子どもを入所させて養育する施設。近隣に、鎌倉児童ホーム（鎌倉市）、春光学園（横須賀市）、幸保愛児園（葉山町）、誠心学園（横浜市磯子区）などがある。	子育て支援課
児童相談所	児童福祉法に基づき、原則18歳未満の子どもに関する様々な相談に応じる機関。子育ての悩み・虐待に関する相談・言葉や発達の遅れに関する相談・生活やしつけの相談・非行の相談・不登校の相談・里親に関する相談等本人、家族、学校の先生、地域の方々等からの相談に専門スタッフが応じる行政機関。逗子市は、鎌倉三浦地域児童相談所の管轄。 ◆利用料 無料	子育て支援課
保健所	県鎌倉保健福祉事務所（平成9年に県保健所と県福祉事務所が合併した機関）が逗子市を所管しています。医師、保健師、栄養士、衛生監視員等の専門職種が勤務し、住民の方々生活に密着した保健・医療・衛生・福祉水準の向上に努めている。	子育て支援課
保健センター	逗子市池子字棧敷戸1892-6に所在し、子どもの健診や、大人の健診（検診）、栄養講座など各種講座などの会場となっている。	国保健康課
育児休業制度	育児を目的として休業できる制度。育児休業中は、雇用保険から休業前の賃金の40%程度相当が育児休業給付として支給される。	—
短時間勤務制度	3歳未満の子を養育する従業員が対象。申し出により、短時間勤務（1日6時間勤務）ができる制度。平成24年7月1日法改正により従業員数100人以下の事業所も適用となっている。	—

逗子市では行っていない事業

用語	内容	問合せ先
居宅訪問型保育	ベビーシッターのように、保育者が保育を必要とする子どもの自宅で行う。 ◆利用料：保護者の所得により異なります。	—
病児・病後児保育施設	逗子市内には、現在のところ、病児・病後児保育施設はありません。近隣では、鎌倉市、横須賀市などで実施しています。発熱時など病気のと看に、病院や保育施設に付設された専用スペースで看護師などが一時的に保育する事業。	—
夜間養護等事業：トワイライトステイ	逗子市では実施していない。	—
短期入所生活援助事業（ショートステイ）	逗子市では子どもを預かるショートステイ事業は行っていません。（障がい程度区分1以上の障がい者向けのみ実施）。保護者の入院や育児疲れ等により一時的に養育困難となったお子さんを乳児院・児童養護施設で短期間お預かりする事業で、近隣では横須賀市が行っている。	—

「逗子市子ども・子育て支援事業計画の改定」に伴う アンケート調査(小学生調査)

～調査の趣旨とご協力のお願～

市民のみなさまには、日頃より逗子市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、平成27年3月に『逗子市子ども・子育て支援事業計画』(平成27年度～平成31年度)を策定し、誰もが住みなれた地域で安心して子どもを産み育てることのできる総合的な支援体制の充実と、地域と力を合わせてともに子どもを育むまちづくりを目指してきたところです。

この度、平成32年度からの次期『逗子市子ども・子育て支援事業計画』を改定するにあたり、子育てをされているご家庭の現状とニーズを把握するため、本調査を行います。

今回の調査では、逗子市立の小学校1学年～4学年までの児童を対象に配布しています。

また、回答いただいた内容は、すべて統計的に処理しますので、回答者個人が特定されたり、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

お忙しいとは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成31年2月

逗子市長

【ご記入にあたってのお願い】

- このアンケートは、お子さんについて、保護者の方がご記入ください。
- ご記入は、黒または青のボールペン、濃い鉛筆等をご使用ください。
- 設問には、平成31年2月1日現在の内容でご回答ください。
- 回答で、「その他」に○をつけられた場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 記入されましたら、お手数ですが、

平成31年3月14日(木)までに担任の先生へ提出してください。

- このアンケートに関する問合せは、下記へお願いします。

逗子市 教育部子育て支援課子育て支援係
電話：046-873-1111 (内線536)
FAX：046-873-4520

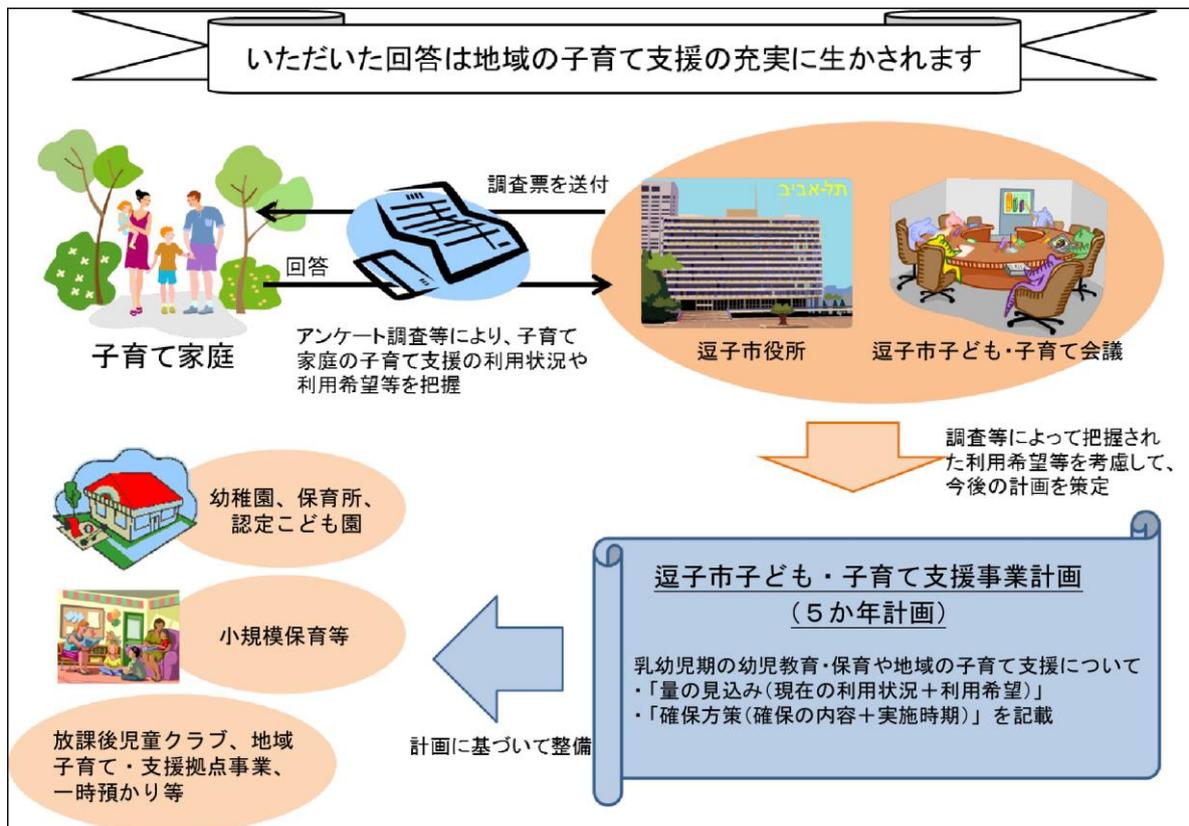
回答するに当たってお読みください

この調査は、子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、国の指針に基づき全国の市町村で実施されます。

- 子ども・子育て支援制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。

子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。



用語の解説

◆放課後児童クラブ（学童保育）

保護者が仕事などで放課後家庭にいないお子さんの遊びや生活の場を提供しています。市内の公立小学校区毎に1箇所ずつ整備し、5箇所あります。

◇対象児童：保護者が仕事などで放課後家庭にいない子ども

◇利用時間：平日は、下校時～19:00 土曜は8:00～19:00

◇利用料金：0円～12,000円/月 延長保育料は、別途1,000円/月 かかります。

◆ふれあいスクール

市内の各公立小学校の施設を活用し、パートナーと呼ぶ職員等を配置して、放課後等の子どもの遊び場として開設しています。子どもたち豊かな人間性の育成を目的としています。

◇対象児童：各小学校区に居住している全ての小学生

◇利用時間：月曜日～金曜日、下校時～17:00 夏休み等は9:00～17:00

土曜日・日曜日・祝日は休館

◇利用料金：無料

◆ファミリー・サポート・センター

所在地は逗子市桜山1-5-42で、子育て支援センターに併設されています。会員制で、子どもの保育所等への送迎や一時預かりなどを互助援助活動として行います。病児・病後児預かりも行っています。支援会員・依頼会員・両方会員があります。

◇利用料は、依頼会員が直接支援会員へ支払います。

◇小学生まで利用可能です。

◇平日（7時～20時）1時間あたり700円（病児・病後児900円）

土日祝・時間外1時間あたり900円（病児・病後児1,100円）

ひとり親家庭、病児の補助制度もあります。

その他の実費は保護者の負担となります。

病児・病後児預かりはお預かりする条件があります。

◆病児・病後児

◇病児は、風邪やインフルエンザなど病中の児童。

◇病後児は、病気の回復期にあつて、集団保育等が困難な期間にある児童。

◇病児・病後児施設は、現在のところ逗子市内にはありません。

（ファミリー・サポート・センター登録者の支援会員宅での預かりのみ。）

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区(○は1つ)

- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1 逗子 | 2 桜山 | 3 沼間 | 4 池子 |
| 5 山の根 | 6 久木 | 7 小坪 | 8 新宿 |

問2 お子さんが通っている小学校(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 逗子小学校 | 2 沼間小学校 | 3 池子小学校 |
| 4 久木小学校 | 5 小坪小学校 | |

お子さんご家族の状況について

問3 お子さんの学年(数字で記入)

年生

問4 お子さんのきょうだいはお子さんを含めて何人ですか。(数字で記入)2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

1 きょうだいは 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ
2 きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ
いない (本人を含めて)

問5 この調査票にご回答いただく方はお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他() |
|------|------|----------|

問6 この調査票にご回答いただいている方に配偶者はいますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者はいない |
|----------|-----------|

問7 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはお子さんからみてどなたですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|--------|--------|---------|----------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親 | 3 主に父親 | 4 主に祖父母 | 5 その他() |
|---------|--------|--------|---------|----------|

(2) 長期の学校休業日（夏休み・冬休み・春休みなど）の現状（〇はいくつでも）

放課後児童クラブを利用している方は、利用している時間を（例）9時から17時までのように24時間制でお答えください。

1 自宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	週	<input type="text"/>	日くらい
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）---	週	<input type="text"/>	日くらい
4 ふれあいスクール-----	週	<input type="text"/>	日くらい
5 放課後児童クラブ（学童保育）-----	週	<input type="text"/>	日くらい
		<input type="text"/>	時から
		<input type="text"/>	時まで
6 ファミリー・サポート・センター-----	週	<input type="text"/>	日くらい
7 公共施設（図書館、公園、体験学習施設スマイルなど）-	週	<input type="text"/>	日くらい
8 その他（			）

(3) 土曜日の現状

該当するものに〇をつけ、それぞれ、1ヶ月の利用回数【土曜日が月に4回と考えてください】と1日(1回)の利用時間を数字で記入してください。放課後児童クラブを利用している方は、利用している時間を（例）9時から17時までのように24時間制でお答えください。

1 自宅-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
2 祖父母宅や友人・知人宅-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
4 放課後児童クラブ（学童保育）---	<input type="text"/>	時から	<input type="text"/>	時まで
	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
5 ファミリー・サポート・センター-----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
6 公共施設（図書館、公園、体験学習施設スマイルなど）----	<input type="text"/>	回/月	<input type="text"/>	時間/日
7 その他（				）

問10 「放課後児童クラブ（学童保育）」と「ふれあいスクール」の違いをご存知ですか。

1 知っている	2 少し知っている	3 あまり知らない
4 全く知らない	5 その他（	）

※この調査票の3ページ目に説明文がありますので、ご存知ない方は、ご参考にしてください。

放課後児童クラブ(学童保育)を利用している方

問11 放課後児童クラブ(学童保育)は何年生まで利用したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|----------|-------|
| 1 1年生 | 2 2年生 | 3 3年生 | 4 4年生 |
| 5 5年生 | 6 6年生 | 7 その他() | |

問12 お子さんについて、土曜日と長期学校休業日(夏休み・冬休み・春休みなど)に、放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。(1)(2)それぞれに○は1つ
また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を(例)09時~18時のように24時間制
でご記入ください。(数字を記入)

(1) 土曜日(希望)

- | | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 1 低学年(1~3年生)の間 利用したい
2 高学年(4~6年生)の間も利用したい
3 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
[] 時から [] 時まで |
|---|-----|-----------------------------|

(2) 長期の学校休業日(夏休み・冬休み・春休みなど)(希望)

- | | | |
|---|-----|-----------------------------|
| 1 低学年(1~3年生)の間 利用したい
2 高学年(4~6年生)の間も利用したい
3 利用する必要はない | } ⇒ | 利用したい時間帯
[] 時から [] 時まで |
|---|-----|-----------------------------|

問13 放課後児童クラブ(学童保育)を利用して、保護者から見て満足していますか。

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 普通 | 4 やや不満 | 5 不満 |
|------|--------|------|--------|------|

問14 放課後児童クラブ(学童保育)に今後望むことは何ですか。(3つまで○)

- | | | |
|------------|-----------------|---------------|
| 1 過ごし方の充実 | 2 指導員の体制の充実 | 3 ボランティアの協力拡大 |
| 4 施設の充実 | 5 保護者との連携強化 | 6 学校との連携強化 |
| 7 地域との連携強化 | 8 保護者の負担軽減(運営等) | 9 実施時間の延長 |
| 10 児童の安全確保 | 11 おやつので充実 | 12 たより等の充実 |
| 13 その他() | | 14 特になし |

ふれあいスクールを利用している方

問15 ふれあいスクールは何年生まで利用したいと思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|----------|-------|
| 1 1年生 | 2 2年生 | 3 3年生 | 4 4年生 |
| 5 5年生 | 6 6年生 | 7 その他() | |

問16 お子さんについて、長期の学校休業日（夏休み・冬休み・春休みなど）にふれあいスクールの利用希望はありますか。

また、利用希望がある場合は、利用したい時間帯を（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字を記入）

長期の学校休業日（夏休み・冬休み・春休みなど）（希望）（○は1つ）

- | | | | |
|----------------------|-----|---|---|
| 1 低学年（1～3年生）の間 利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 | |
| 2 高学年（4～6年生）の間も利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> | 時から <input type="text"/> <input type="text"/> |
| 3 利用する必要はない | | | 時まで |

問16-1 平成29年度まで土曜日にふれあいスクールを開設していました。土曜日にどのくらい利用していましたか。

ふれあいスクールの土曜日利用（実績）（○は1つ）

- | |
|--|
| 1 月 <input type="text"/> 回程度 ⇒ <input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで |
| 2 利用していなかった |

問16-2 ふれあいスクールは土曜日にも利用したいと思いますか。（希望）（○は1つ）

- | | | | |
|----------------------|-----|---|---|
| 1 低学年（1～3年生）の間 利用したい | } ⇒ | 利用したい時間帯 | |
| 2 高学年（4～6年生）の間も利用したい | | <input type="text"/> <input type="text"/> | 時から <input type="text"/> <input type="text"/> |
| 3 利用する必要はない | | | 時まで |

問16-3 土曜日に逗子小学校のふれあいスクール1か所のみ開設し、市内の全小学校の児童を対象とした場合、利用したいと思いますか。（○は1つ）

- | |
|---------|
| 1 利用する |
| 2 利用しない |

問17 ふれあいスクールを利用して、保護者から見て満足していますか。

- | | | | | |
|------|--------|------|--------|------|
| 1 満足 | 2 やや満足 | 3 普通 | 4 やや不満 | 5 不満 |
|------|--------|------|--------|------|

問18 ふれあいスクールに今後望むことは何ですか。（3つまで○）

- | | | |
|------------|--------------------------------|---------------|
| 1 プログラムの充実 | 2 スタッフの体制の充実 | 3 ボランティアの協力拡大 |
| 4 施設の充実 | 5 保護者との連携強化 | 6 学校との連携強化 |
| 7 地域との連携強化 | 8 実施時間の延長 | 9 児童の安全確保 |
| 10 たより等の充実 | 11 その他（ <input type="text"/> ） | |
| 12 特になし | | |

放課後児童クラブ(学童保育)、ふれあいスクールのいずれも利用していない方

問19 現在利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 特に利用する必要がない | 2 保育内容や質に不安がある |
| 3 利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない | |
| 4 利用料がかかる・高い | 5 利用料がわからない |
| 6 自分の子どもが対象者になるのかわからない | 7 利用方法(手続き等)がわからない |
| 8 その他() | |

問20 今後放課後児童クラブ(学童保育)を利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1 利用したい | 2 条件等によっては利用したい | 3 利用したくない |
| 4 利用する必要がない | 5 わからない | |

問21 今後ふれあいスクールを利用したいと思いませんか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-----------|
| 1 利用したい | 2 条件等によっては利用したい | 3 利用したくない |
| 4 利用する必要がない | 5 わからない | |

子どもの育ちをめぐる環境について(すべての方)

問22 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない |

問23 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 いる/ある→問23-1へ | 2 いない/ない→問24へ |
|----------------|---------------|

問23-1 問23で「1 いる/ある」に〇をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 祖父母等の親族 | 2 友人や知人 |
| 3 近所の人 | 4 小学校の先生 |
| 5 幼稚園・保育所等の先生 | 6 スクールカウンセラー・相談員 |
| 7 民生委員・児童委員 | 8 かかりつけの医師 |
| 9 自治体の子育て関連担当窓口 | 10 その他(【例】インターネット) |

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援の満足度についてお答えください。(〇は1つ)

満足度が低い					満足度が高い
1	←	2	3	4	→

お子さんの保護者の就労状況について

問25 お子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】(〇は1つ)

1 フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3 パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4 パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5 以前は就労していたが、現在は就労していない 6 これまで就労したことがない	} → (1) -1 へ } → (2) へ
--	---------------------------

※フルタイム=1週5日程度・1日8時間程度の就労。パート・アルバイト=「フルタイム」以外の就労。

(1) -1 (1)で「1~4」(就労している)に〇をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たり		日	1日当たり			時間
-------	--	---	-------	--	--	----

(1) -2 (1)で「1~4」(就労している)に〇をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず08時10分~18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻		時		分	帰宅時刻		時		分
--------	--	---	--	---	------	--	---	--	---

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】(〇は1つ)

1 フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない 2 フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3 パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない 4 パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5 以前は就労していたが、現在は就労していない 6 これまで就労したことがない	} → (2) -1 へ } → 問28 へ
--	---------------------------

(2) -1 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(数字を記入)

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(2) -2 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず08時10分~18時00分のように、24時間制10分単位でお答えください。(数字を記入)

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分	帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	<input type="text"/>	<input type="text"/>	分
--------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	---

ファミリー・サポート・センターと体験学習施設について

問26 ファミリー・サポート・センターについて

(1) 小学生まで利用できることを知っていますか。

1 知っている。	2 知らない
----------	--------

(2) これまでに利用したことがありますか。

1 はい →問27へ	2 いいえ
------------	-------

(3) 今後利用したいと思いませんか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

問27 ファミリー・サポート・センターを利用したことがある方に伺います。どのようなときに利用しましたか。(○はいくつでも)

1 私用(買い物、子どもや親の習い事等)	2 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等
3 不定期の就労	4 その他()

問28 第一運動公園内に体験学習施設スマイルがあります。お子さんはどのような施設やサービスを利用していますか。(○はいくつでも)

(1) 利用したことがある施設

1 アトリエ(読書、ボードゲーム、工作等)	2 スタジオ(ダンス、音楽等)
3 スポーツルーム(スポーツ、文化的活動等)	4 学習室
5 乳幼児向けプレイルーム	6 幼児・低学年向けプレイルーム
7 ラウンジ(憩いの場)	8 カフェ(有料の飲食ができる場)
9 広場(外遊びができる屋外スペース)	10 その他()
11 特に利用したい施設はない	

保護者の考えについて

問32 子育て支援（教育を含む）等に関して、ご意見ご要望などありましたらご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

平成31年3月14日（木）までに各小学校のクラス担任までご提出ください。

子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案について

【実施理由】

現「逗子市子ども・子育て支援事業計画」は令和6年度で計画期間の最終年度を迎え終了します。このため令和7年度からの5年間の新たな「逗子市子ども・子育て支援事業計画」を来年度に策定します。この計画では、「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保を定めています。

今回のアンケートは、この教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制やサービス量を新たな計画で定めるため、その基礎資料となる逗子市民の現状やニーズを分析するために行うものです。

現計画を策定するため、5年前にも未就学児、小学生を対象に同様のアンケートを行っており、今回のアンケート案はその時のアンケートを基に作成しています。5年前のアンケートでは、国から示された必要量を把握するためのアンケート内容を基に、逗子市独自の調査したいことを加えて作成しております。

また、近年ではヤングケアラーや子どもの居場所等の中高生の年代のこどもの問題がクローズアップされるようになってきました。和5年4月1日に施行されました「こども基本法」では、こども施策の策定に当たっては施策の対象となるこどもの意見を反映させるように規定されたこともあり、こうした問題への施策を検討できるように中高生を対象にしたアンケートをホームページ上で行う予定です。

また、実際にサービスを提供するのは市内の事業者ですので、事業者についてもアンケートを行うことにしています。

【こども基本法に関する動向について】

令和5年4月1日に施行された「こども基本法」は、こどもに関する様々な取組を講ずるに当たっての共通の基盤として、子ども施策の基本理念や基本となる事項を定めた包括的な基本法です。この法律の中では、国が示す「こども大綱」と都道府県「こども計画」を勘案して市町村「こども計画」を策定するように努めることと努力義務として規定されています。

逗子市では、市町村「こども計画」を包含した形で、「逗子市子ども・子育て支援事業計画」を来年度策定する予定です。他の市町村でも同様の考えを持つところが多いです。

このこども大綱の内容を踏まえたアンケートを実施し、来年度策定する「逗子市子ども・子育て支援事業計画」に反映できるようにする予定でございましたが、現時点で国から市町村「こども計画」の内容が示されていません。

今年度中にアンケートをまとめるためには、国の計画案の提示を待たずにアンケートを実施することとしました。他の市町村でも同様の動きが見えます。

【アンケートの実施方法】

(1) 未就学児

① 調査対象

ア 0歳から2歳 1,000人程度

イ 3歳から5歳 1,000人程度

② 調査方法

返信封筒を入れて郵便にて発送します。

(2) 小学生

① 調査対象

公立小学校（5校） 1～4年生 1,800人程度

② 調査方法

小学校を通じて配布、回収を行います。

(3) 中学生、高校生

① 調査対象

ア 公立中学校（3校） 1～2年生 800人程度

イ 公立高等学校（1校）、私立高等学校（2校） 1～2年生 800人程度

② 調査方法

ア QRコード付き調査依頼文を、学校を通じて配布をします。

イ 回収はweb（PC・スマートフォン等）を通して行います。

(4) サービス提供事業者等に対する現況・意向調査

サービス提供事業者及び子ども・子育て関係団体等（市内私立保育園、幼稚園及び認可外保育施設等）に対してアンケート調査及びヒアリング等を行い、現況、課題、ニーズ及び新制度に対する意向等の把握・分析を行います。

こども基本法の概要（地方公共団体関係部分）

施行日：令和5年4月1日

- こども基本法は、こどもに関する様々な取組を講ずるに当たっての共通の基盤として、こども施策の基本理念や基本となる事項を定めた包括的な基本法。
- 同法においては、以下のとおり、地方公共団体の責務や、地方公共団体に対する義務の定めがある

【第5条】地方公共団体の責務

- 地方公共団体は、基本理念にのっとり、こども施策に関し、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、その区域内におけるこどもの状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する

【第10条】都道府県こども計画、市町村こども計画の策定（努力義務）

- 都道府県は国のこども大綱を勘案し、また、市町村は国のこども大綱と都道府県こども計画を勘案し、それぞれ、こども計画を定めるよう努めるものとする（こども計画の策定・変更時は遅滞なく公表すること）
- 各計画は、既存の各法令（※）に基づく都道府県計画・市町村計画と一体のものとして作成することが可能

※ 子ども・若者育成支援推進法第9条、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条等

【第11条】こども等の意見の反映

- 地方公共団体（※）は、こども施策の策定・実施・評価するに当たり、**こどもや子育て当事者等の意見を聴取して反映させるために必要な措置**（例：こどもや若者を対象としたパブリックコメント、審議会・懇談会等の委員等へのこどもや若者の参画促進、SNSを活用した意見聴取等）**を講ずるものとする**
- ※ 「地方公共団体」とは、地方自治法に基づく普通地方公共団体及び特別地方公共団体を指し、議会や執行機関のほか、法律の定めるところにより置かれる委員会（例：教育委員会）や、法律又は条例の定めるところにより置かれる附属機関が含まれると解される
- **具体的な措置、意見聴取の頻度等は、個々の施策の目的等に応じて様々であり、地方公共団体の長等は、当該施策の目的等を踏まえ、こどもの年齢や発達段階、実現可能性等を考慮しつつ、こどもの最善の利益を実現する観点から、施策への反映について判断**
- 聴取した意見が**施策に反映されたかどうかについて、こどもにフィードバックすることや広く社会に発信していくことが望ましい**

【第13条、第14条】関係機関・団体等の有機的な連携の確保（努力義務）

- 地方公共団体は、こども施策の適正かつ円滑な実施のため、こどもに関する支援を行う民間団体相互の有機的な連携の確保に努め、また、連携の確保に資するための情報通信技術の活用などを講ずるよう努めるものとする

【第10条関係】

Q8 都道府県子ども計画及び市町村子ども計画に記載すべき要素は何か。

A8 都道府県子ども計画及び市町村子ども計画（以下、「自治体子ども計画」という。）は、法第10条第1項及び第2項において、国が策定する子ども大綱を勘案して定めることとされている。

国の子ども大綱は、法第9条第3項において、

- ・ 少子化社会対策基本法第7条第1項に規定する総合的かつ長期的な少子化に対処するための施策
 - ・ 子ども・若者育成支援推進法第8条第2項各号に掲げる事項
 - ・ 子どもの貧困対策の推進に関する法律第8条第2項各号に掲げる事項
- を含むものでなければならないとされており、したがって、子ども大綱を勘案して作成する自治体子ども計画にも、これらに相当する内容が含まれるものと解される。

Q9 自治体子ども計画は、子ども・子育て支援事業計画や次世代育成支援推進法に基づく行動計画と一体のものとして作成できるか。

A9 法第10条第4項及び第5項のとおり、自治体子ども計画を作成するにあたり、子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援推進法に基づく行動計画と一体のものとして作成することが可能となる。

Q10 自治体子ども計画を、デジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した地方版総合戦略と一体のものとして作成できるか。

A10 子ども大綱は、子ども・若者育成支援推進大綱、子どもの貧困対策大綱、少子化社会対策大綱の内容を含むものとして策定されるもので、自治体子ども計画は、子ども大綱を勘案して、これらに相当する内容が含まれる必要があることから、仮に地方版総合戦略と一体のものとして作成する場合には、これらに相当する内容を含めるとともに、地方版総合戦略としての内容を備える必要がある。また、自治体子ども計画は各自治体における子ども施策に全体として統一的に横串を刺すものとして、住民にとってわかりやすい内容となるようにする必要があり、仮に地方版総合戦略と一体のものとして作成した場合にも、住民が混乱を招くことがないよう細心の注意を払う必要がある。

2023年(令和5年) 月 日

逗子市子育て支援課 宛
FAX 046-873-4520

所属
氏名

子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民ニーズ調査アンケート案 意見書

意見がありましたらご記入ください

令和5年度 第2回

逗子市子ども・子育て会議

会議録（案）

令和5年6月7日開催

令和5年度 第2回逗子市子ども・子育て会議 会議録

1 日 時 令和5年6月7日(水) 9時30分から

2 開催場所 逗子市役所5階 第2会議室

3 出席者

(1) 委員 (名簿順)

豊田委員、横山委員、清水委員、市川(悟)委員、渡部委員、市川(由)委員

渡邊委員、森委員、横地委員、寶川委員、新納委員、山岡委員、小野委員 以上13名

(2) 事務局

福井教育部担当部長(子育て担当)(教育部次長(子育て担当)事務取扱)

子育て支援課(伊藤課長、中川担当課長(青少年育成担当)、鈴木係長、稲垣主事)

保育課(市川課長、梶山副主幹)

4 欠席者 小関委員

5 開催形態 公開(傍聴者1名あり)

6 議題

(1) 久木小学校区放課後児童クラブ建設に伴う室内設計について

(2) その他

7 配布資料

次第・委員名簿・席次表

資料1 久木小学校区放課後児童クラブ新築工事

資料2 ワークショップ 保育室3案

資料3 久木小学校区放課後児童クラブ室内設計(案)

久木小学校区放課後児童クラブ室内設計(案)意見書

8 議事概要

開会

- ◆ 委員 13 名が出席。「逗子市子ども・子育て会議条例」第 5 条第 2 項の規定に基づき、会議が成立していることを報告。
- ◆ 新任の山岡委員の自己紹介。
- ◆ 同条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、会長を議長とする。
- ◆ 傍聴者 1 名途中入場。
- ◆ 会議録署名委員 会長、4 番市川（悟）委員、12 番新納委員

議題（1）久木小学校区放課後児童クラブ建設に伴う室内設計について

【寶川議長】

事務局より説明願う。

【事務局（市川保育課長）】以下、説明の概要。

- ◆ 久木小学校長寿命化改修工事として、令和 7 年度に大規模改修が計画されている。
- ◆ 現在久木中学校横にある放課後児童クラブは、当初小学校に移転する予定はなかったが、市長指示で移転することが決まった。
- ◆ この会議では、久木小学校全体改修等工事の一部である「久木小学校区放課後児童クラブ」部分の室内設計について皆様にご意見をうかがうものである。

【資料 1】を基に説明

- ◆ 1 ページ目は、現在の久木小学校平面図である。
- ◆ 2 ページ目のページ下の中央に「移転先」と点で囲っている箇所が、放課後児童クラブが新たに建設される場所である。
- ◆ 新設の放課後児童クラブの左には、久木地域活動センターが隣合わせとなっており、通路を挟んでその左には、通級教室の部屋となっている。
- ◆ 3 ページ目は、2 階部分の平面図で、放課後児童クラブ及び久木地域活動センターの 2 階部分は、現在の小学校と同じように体育館になる予定である。
- ◆ 4 ページ目は、3 階部分の平面図となっている。
- ◆ 放課後児童クラブは学校とつながっていない。
- ◆ 放課後児童クラブと久木地域活動センターは隣合わせにはなっているが、通路等はなく中からは行き来することはできない。
- ◆ 他建物については、担当所管が異なるため、本会議では「放課後児童クラブ」部分のみのご意見をいただく。
- ◆ 待機児童対策として、放課後児童クラブの広さは現在の 2 倍になる予定。
- ◆ （参考）現在と比較すると、A 棟「管理・特別教室棟」についてはそのまま。
- ◆ （参考）現在 B 棟奥に後から建てられた給食室は、手狭になってしまったため、改修後は右奥に移転。

- ◆ (参考) 給食室があった部分については、壊された後、新たに駐車場になる予定。

【移転に伴うこれまでのスケジュール】 逗子市市民参加条例に基づき、次のとおり実施

- ◆ 令和5年2月下旬 アンケート実施 (子どもへのアンケートだが、保護者記入欄もあり) 児童：13名
- ◆ 令和5年3月2日 (木) 放課後児童クラブでのワークショップ 児童：41名
- ◆ 令和5年3月11日 (土) 久木小学校区放課後児童クラブ移転・新設工事保護者説明会
参加者：保護者2名
事務局等：保育課 課長、係長、係員2名、久木小学校区放課後児童クラブ施設長、他1名、
ライクキッズ(株)担当者1名、綜企画設計 課長、他1名

【資料2】を基に説明

- ◆ 資料2は、令和5年3月2日に実施したワークショップで子どもたちに提案した案。
- ◆ ワークショップ当日、A、B、C案の3案を子どもたちに提案し、好きな部屋のつくりを選んでくださいと尋ねた。
- ◆ ほとんどの子どもがC案を好きな部屋であるとした。
- ◆ 上記の結果から、C案をもとに意見を聴き取り、どこの場所をどのように使いたい。またどのような要望があるのか話した。
- ◆ ワークショップ及び2月に行ったアンケートでは、静かに過ごす部屋・勉強ができる部屋・大きな音でみんなと演奏ができる部屋・体を動かす遊びのスペースと静かに座って遊ぶスペースを分けてほしいなど様々な声が出た。
- ◆ 子どもはもちろん、保護者から様々な希望がでたが、中には反映させられないような意見もあった。(体育館や校庭での遊び方など)

【資料3】を基に説明。

- ◆ 好きな部屋とされたC案をもとに、子どもや保護者の意見を反映させ、また、現在の指定管理者にも意見をもらいながら、形にしたものが、資料3の「久木小学校区放課後児童クラブ室内設計 (案)」である。
- ◆ 久木地域活動センターとの壁には、大きな音を出したいという希望もあり、防音材を入れる予定。
- ◆ 静かに過ごす部屋の希望があったので、センター側に畳を使った空間を作り、奥はカーテンで仕切るなどして横になったりすることができる静養コーナーを設ける。
- ◆ 畳への空間へは小上がりとなっている。収納が少なく困っているということから、畳の下は引出し収納を作る予定である。

- ◆ 上部にクッションマットと記載されている場所は、本を読んだり、勉強をしたりする空間として利用することを想定している。
- ◆ クッションマットの場所は壁に沿って本棚を設置し、左壁側に、ランドセルロッカーを設置する。
- ◆ ランドセルロッカーは、資料手前側、道路に面している場所にも設置予定。
- ◆ 中央部分のフローリングと記載している場所はネットカーテンにより二つの空間に仕切れるようになっている。
- ◆ 右上、メイン入口とされている箇所から子どもたちが入室し、まずは手前の空間で当日過ごす子どもの人数等を把握し、その後各々の過ごす空間へ移っていくというイメージである。
- ◆ 入口はフラットにし、車いすでも入室しやすいようにする。
- ◆ みんなのトイレも設置予定。
- ◆ みんなのトイレは逗子市バリアフリー懇話会で、公共施設整備に係るトイレの仕様について推奨されているレベルを整備する予定。(例えば、電動車椅子でも回転できるスペースを確保することや便器用手すりを設置することなど)
- ◆ その他トイレについては、指定管理者から少し数を増やしたいという希望もあったが、保育室としての面積を考えたところ、現状と同等を設置することとしてある。
- ◆ 中央に事務室、キッチンがあり、クッションマットやフローリングにいる子どもたちにも目を配ることができるように窓を設置する。互いに姿を見ることができるようになっている。
- ◆ 入口入って左側（資料上は右）に、手洗い口を5口設置する。なお、図面には入っていないが、壁を隔てて外側にも手洗い場や足洗い場を設ける予定。
- ◆ 現在までに児童や保護者などの声からこのような設計としているが、今後家具等については具体的に考えていく予定。

【寶川議長】

事務局の説明にご意見ご質問はないか。

【横地委員】

規模を大きくしたとのことだが、改修後の定員は何名とする予定か。また、子どもたちが資料2のC案を選んだ理由が分かれば面白いと思うがいかがか。

【事務局（梶山副主幹）】

現在の在籍者は92名。必ずしも毎日いるわけではなく、常時60名程度が過ごしている。今回示した資料では310平米とあり、現在の平米数が140平米なので倍程度になる予定である。ただし、平米数はあくまで案であり、全体の設計の案で多少変更になることはあり得る。また、C案をどのような形で皆さんが選んだかについては把握していない。ダントツにC案が多かった。A案は0名、B案は3名、C案は24名という結果だった。

【渡部委員】

みんなのトイレについて、隣の久木地域活動センターにも設置予定か。また、例えば運動会などの行事に来ている車いすの方が利用できるように、外にも入口があって外から入ることもできる設計なのか、学童の利用者のみしか利用できない設計なのか、教えてほしい。

【事務局（市川保育課長）】

隣の久木地域活動センターにもみんなのトイレを設置予定である。なお、メインの入口から入って利用することを想定しているため、外からの利用は現状考えていない。運動会等の行事で利用できるかどうかについては、学校とは別管理の施設なので基本的には誰でも常に使える状態にはならない予定である。

【小野委員】

防災時、防犯対策はどのようなことを考えているのか教えていただきたい。

【事務局（梶山保育課副主幹）】

現段階では、大まかな設計をしている状況なので、防犯対策についての詳細な議論が進んでいない。ただ、必要な事項なので今後詳細はつめていく。

【事務局（市川保育課長）】

補足になるが、メインの入口及び勝手口から避難することができる設計になっている。また、各学童施設への防犯カメラの設置について、今年度予算化を図っている。新しい施設にも当然防犯カメラの設置を予定している。

【渡邊委員】

現在の学童利用者は、久木中学校の隣にある学童施設内だけで遊んでいるという状況か。久木小学校の敷地内に移転後は、校庭に面しているので、学童に通う子どもたちが校庭を利用できるのか。

【事務局（市川保育課長）】

現在久木小学校の学童施設は、久木中学校横の施設と、久木小学校内の分室の2箇所ある。新しい施設が完成した場合、久木中学校横の施設は利用しない予定である。校庭等の利用については学校側と調整する必要があるが、子どもたちが自由に遊べるように調整していきたい。現在も学童の児童は校庭を利用している。

【渡部委員】

これからもっと、教育についてもインクルーシブという観点が進んでいくなかで、例えばパニックを起こす障害を持っている児童も学童と一緒に過ごすことをある程度想定していく必要があるのかなと思う。そのような児童が落ち着くスペースは、基本的には畳のスペースになるのか。そのようなことを想定されて畳スペースが設けられているのか。そのような児童への対応は、どのような観点で設計のなかに盛り込まれているのか伺いたい。

【事務局（市川保育課長）】

畳の静養コーナーは、具合の悪い子や落ち着く必要がある子が利用するスペースになるということも想定している。また、その日の児童の活動状況に応じて、柔らかいクッションマット素材のスペースを利用することも想定される。

【渡部委員】

勉強したい児童や本を読んでいる児童にとっては、困らないか心配。例えば病気の方と一緒にいてもお互いが困ってしまうのかなと思うが、そこまで考慮するとなかなか難しいのか。

【事務局（市川保育課長）】

スペースの問題もあるが、運用のなかで対応する形をとっていく。

【事務局（梶山保育課副主幹）】

最近はお昼寝をしないと体力的に持たないという児童がいるという話も聞いている。その際は静養コーナーでカーテンを閉めることも可能であり、和紙製たたみとなっている小上がりの部分にも仕切りを設けることは可能。2つ空間を作ることが可能なので、体調が悪い児童がいれば移動しながら運用していくことが想定される。空間として限られているので初めからいくつか空間を仕切ることが難しいのでカーテンを使って上手く仕切ることが出来ればと思う。

【市川（悟）委員】

出入口がメイン入口と勝手口のみというのは、非常事態が起こった時に非常口という観点で問題ないのか。例え

ばクッションマットで活動していた場合、出入口から遠い。特に勝手口は狭いように見える。

【事務局（市川保育課長）】

今後、防犯の面と併せて検討していく課題とする。

【市川（悟）委員】

普段は問題ないと思うが、隣も壁で仕切られている。いざという時のことをぜひ検討していただきたい。

【寶川委員】

勝手口の広さはどのくらいか。

【事務局（梶山保育課副主幹）】

勝手口を作るというところまで決定している段階で、広さは決定していない。ランドセルロッカーの上部は開閉可能な窓が設置される予定である。広さについては今後の検討課題とさせていただきます。

【横山委員】（質問事項4点。一問一答形式で記載）

静養コーナーは、具合の悪い児童や横になるスペースで、勉強や本を読むスペースはクッションマットのスペースとのことだが、テーブル等を設置して書き物や勉強ができるスペースなのか、柔らかいクッションマットなので設置予定はないのか。

【事務局（市川保育課長）】

クッションマットのスペースは、勉強する児童がいることも想定しているので、ものを書くための道具は用意する予定である。なお、ゴロゴロ横になることも想定しているスペースなので、フローリングのスペースでも学習できるようなスペースをつくる予定。今後詳細を決定していきたいと思う。

【横山委員】

楽器演奏できるように防音材を使用したとのことだが、楽器演奏は児童が持ち込んで演奏するのか、それとも音楽室から借りて演奏するのか。演奏する場合どの部屋で実施予定か。

【事務局（市川保育課長）】

楽器は現在指定管理で運営している事業所がキーボードやギターを用意し、みんなで歌を歌ったりなどの活動をしている。引き続きその活動を想定している。演奏する場合は、隣の地域活動センターとも離れたところとして、フローリングのスペースを予定している。

【横山委員】

子どもたちの意見で落ち着いて勉強する場所が欲しいということだったが、クッションマットのスペースに机を置いて勉強することが難しいということとなると、楽器演奏と勉強スペースが混在することになるので、子どもたちの意見と違ってくるのではないかと感じる。レイアウトを考える際は、そのあたりを考えないとごちゃごちゃになってしまうと感じた。

【事務局（市川保育課長）】

現在も指定管理者が運用のなかで、勉強の時間は楽器演奏を控えるなど配慮している。確定ではないが、クッションマットのスペースにも座卓などを置けば勉強やお絵描きなどできると考えている。そのあたりも含め検討していく。

【横山委員】

キッチンの使い道を教えて欲しい。

【事務局（市川保育課長）】

現在は、本格的な調理はしていない。例えば、夏場の飲み物を用意する場所として利用している。児童が主体的に使う場というよりは、事業者が活動に必要なものを用意するために利用することを想定している。

【横山委員】

ほっとスペースが久木小学校内に設置されていると思うがどうなるのか。

【事務局（中川担当課長）】

ほっとスペースはこれまで同様、ふれあいスクールの場所となる。資料1のP3のふれあいスクールの場所になる予定である。

【小野委員】

子ども達が活動していると、例えばトラブルが起きて泣いていて呼んで話を聞いてあげたり、外で活動していて突然雨が降ってきて着替える必要がある場合などプライバシーを配慮してあげなければならないシチュエーションがでてくると思う。設計図をみると、配慮できるスペースがないように見える。例えばトイレがうまく整理されていて、そこで着替えが可能であったり、静養コーナーのカーテンが上手く仕切れてそこで話を聞いたり落ち着かせたりできるのであれば問題ない。実際開所されて運用のところで対応していくと思う。初めからレイアウトでカチッと決めてしまうと使いづらいと思う。運用の時に使いやすいように、柔軟にレイアウトを変えられるように考えておいたほうがいいのかと思う。特に5、6年生など高学年になってくると着替えの場所は気になると思うので検討いただきたい。

【事務局（市川保育課長）】

なるべく広くみんなが自由に使えるスペースを確保しつつ、カーテンやパーティションを活用して指定管理者とも協議して対応できるようにしていきたい。

【横地委員】

いわゆる公設民営という施設だと思う。わたしが管理者であれば、ここに机をおいて、この場合はここを利用して等イメージして検討すると思う。公設民営のため、この会議で議題としたり、保護者や子どもの意見を聞いたり、指定管理の難しさが露呈しているなどと思った。指定管理者は今の施設の不便さや良さを分かっている。それをいかに新しい施設に反映させるかということを考えていると思う。現在の指定管理者が、新設後も継続して運営するのか。

【事務局（市川保育課長）】

指定管理の制度は、5年間継続して運営できる。現在の管理者が昨年度新たに契約しているので、新設後も継続して運営する予定である。これまでも指定管理者とはレイアウトの打ち合わせをし、何度か修正をしている。今回の委員の皆様のご意見や、今後予定しているパブリックコメントの意見等も踏まえて、指定管理者と打ち合わせを重ねてより良い施設となるよう協議していく。

【事務局（市川保育課長）】

その他、意見がある場合は配布した意見書を6月15日（木）までに事務局まで提出をお願いする。今後の予定として、6月26日（月）～7月25日（火）でパブリックコメントを実施し意見をいただく予定。また、時期は未定だが11月ごろにバリアフリー懇話会で学校施設全体について審議する予定。その後それぞれの意見も踏まえて最終的に決定していく予定である。

議題（2）その他

【寶川議長】

事務局より説明願う。

【事務局（鈴木係長）】

第1回会議で皆様からいただいた逗子市子ども・子育て支援事業計画事業進行管理の意見について、取りまとめ後日会長及び逗子市子ども・子育て会議を代表して、上位計画にあたる逗子市地域福祉計画の懇話会に出席いただき横地委員に確認いただき、逗子市地域福祉計画の懇話会に逗子市子ども・子育て会議の意見として提出する予定であることを報告する。

【寶川議長】

事務局の説明にご意見ご質問はないか。

【横地委員】

どのぐらい意見はでたのか。

【事務局（鈴木係長）】

14名の委員のうち10名の方から意見をいただいた。

【寶川議長】

ご意見ご質問がなければ、議事を終了し、進行を事務局に返す。

閉会 以上により議事を終了し、令和5年度第2回逗子市子ども・子育て会議を閉会した。

※ 次回開催は8月予定。次期子ども・子育て支援事業計画のアンケート案を審議していただく。

10. 署名

議事の経過及び結果を明確にするためこの会議録を作成し、会長及び議事録署名人は次に署名する。

会長

会議録署名人

会議録署名人
